

計表場規錄錄錄報況融道易料報事

青島實業協會月報 第七號目次

◎協會錄事

..... 一

◎時報

..... 二

△其後の關稅改正會議△埠頭料金改正

◎資料

..... 四

△經濟上より見たる支那

..... 四

△銀價の騰貴と其原因

..... 一四

△工場法施行の成績

..... 一五

◎貿易

..... 一九

△青島貿易近況△主要貿易品情勢

◎海運及鐵道

..... 二〇

△船舶出入近況△臨時船出入近況△各航路近況△石臼所新寄港△山鐵乘車人員

△山鐵現在貨車機關車數△山鐵倉庫業開始△市内三驛主要貨物發著數

◎金融

..... 二二

△六月中銀塊並爲替相場

◎主要貿易品商況	二二三
----------	-----

◎內外經濟要報	二二五
---------	-----

◎青島雜錄	二二九
-------	-----

◎濟南雜錄	二三二
-------	-----

◎沿線雜錄	二三三
-------	-----

◎法規	二三三
-----	-----

△青島守備軍公證規則△「モルヒネ」「コカイン」取締規則△原動機取締規則

◎倫敦銀塊相場	二三八
---------	-----

◎青島物價表	二三九
--------	-----

◎統計	四二
-----	----

△輸出入貿易△埠頭陸揚船積數量△青島三驛發著主要品數量△出入船舶

△出入船舶旅客△鐵道乘降客△青島屠獸場屠殺數

青島實業協會月報 第七號

協會錄事

●七月例會 豫定の如く十日午後七時開會出席員左の如し

原田 汽船會社 江商株式會社

日本棉花株式會社 安部幸商店

東亞煙草株式會社 南滿鐵販賣課

東和公司支店 朝鮮銀行

三井物產會社 鈴木商店

橫濱正金銀行 中村組

大連汽船會社 山東興業會社

内外綿株式會社 泰利商會

例に依て晚餐を共にし歡談裡に親睦を重ね終て月番幹事より之より議事に移る旨を宣し先づ書記長より大正七年上半年期(自一月至六月)會計、庶務其他會務諸般の報告をなし次て小麥問題の經過に就き金子慶治氏より詳細の報告あり、次に落花生の米國制輸及同國紐育に於ける輸入油類品質條件に關する抗議書提出の經過報告は飯塚重五郎氏よりさるる筈なりしも同氏病氣缺席のため清水氏より大體の報告あり詳細は次回例會に飯塚氏より報告ある可しと結ぶ、次に埠頭作業統一問題に關し過日鐵道部長宛請願書を提出せしが其後の成行きに就き同部長を訪問したること及當局の聲明要項に就て月番幹事より報告あり、之より森田常任幹事の辭任に就き同情裡に之を承認し直に常任幹事新選の投票を行ひたるに最高點にて橫濱正金の太田保一郎氏當

選、次點は同點にて飯塚重五郎、永井熙八兩氏に決定、次て森田氏慰問の件、協會月報振作の件、職員半期賞與の件を議了決定し、幹事より次回月番幹事は

湯淺商店出張所 代表者 小林 乃君

滿鐵販賣課出張所 同 岩崎 恒義君

なる旨披露し午後九時半散會せり

●小麥問題委員會 小麥問題其後の經過に就き委員會開會の議あり六月二十六日午後四時各委員參集諸般打會を了し同五時散會せり

●市川氏送別會 協會員南滿洲鐵道株式會社埠頭事務所青島出張所代表者及大連汽船株式會社青島出張所代表者市川數造氏今回大連本社に轉勤に就ては市民會有志と共に送別會を六月十五日午後七時三浦屋に於て開催出席者五十餘名、頗る盛會を告げ午後十時散會せり

●鐵道部長訪問 月番幹事及書記長は七月三日午後埠頭作業統一に對する協會請願書に關し其後の成行き承知し度き旨を以て坂口鐵道部長を訪問せり

●森田氏慰問 月番幹事及書記長は七月十一日午前森田龍起氏を病床に訪ひ常任幹事辭任承認の報告及今後共精々療養方を勧め夫々慰問する所ありたり

●森田氏死去 協會員大阪商船株式會社青島出張員代表者森田

龍起氏は病氣療養中の處七月十三日病狀一變遂に永眠さる、會員一同驚愕悲痛措く處を知らず、翌十四日葬儀に際し月番幹事は協會を代表して左の弔詞を供へたり

弔 詞

大阪商船株式會社青島出張員森田龍起君年齒少して奄然長逝す、恍として夢の如し

君は大正四年二月青島に赴任入市し一意社務の發展に至誠を致せり、當時占領後日猶淺く交通運輸界の繁忙なる舉げて云ふへからず、特に對内地航路の如き最も繁劇にして職として殆んど寢食を忘るるものありき、而かも君は敢然最も忠實に此の難事に當り、亦一面には我か實業協會の一員として青島貿易の隆盛を念し銳意熱誠、克く其の任を全ふせり、而して先には一度常任幹事の重職に擧げられ繁忙なる會務の處理に奔走し實業協會今日の地歩を造るに至りたるは亦君に負ふ所大なり、病の爲此の職を退くの情自他共に遺憾とせるも、君の健全を期望し君の再擧を祈るの故を以て協會員一同は之を承認受納せり、而して日を重ぬるに至らず、遽然として其の死に接せんとは、嗚呼悲哉

君今や呼へども歸らず、而して山東の開發、青島實業界の振興は益々多事なり、運輸交通の任は彌々重をなし本協會の責務も亦益々大ならんとするの時、交友長く眠りて醒めず、言はんと欲するの事胸に滿ちて言ふ能はず、只た君か本會の爲に熱烈なる誠意を盡したるの一事、永劫銘して本會の榮譽となし、協會員一同益々奮勵努力、君の意を空しくするなし、尙くは饗けよ

茲に謹みて君か靈前に進み青島實業協會員一同を代表し恭し

く弔す

大正七年七月十四日

青島實業協會月番幹事

合名會社湯淺商店青島出張所

代表者 小林 乃

時 報

◎其後の關稅改正會議

三四箇月の豫定を以て本年一月より開始せられたる支那關稅改正會議は、開會數回ならずして挫折し、上海に於ける會議は一時中止と爲り、本會議は北京政府及關係公使間の交渉談判に移り、折衝を重ねられつゝありしは世人の夙に知る處なるが、本問題の斯く紛紜せしは(一)改正率の根本標準價格(二)暫行稅率の協定の二問題に關し關係國使節間に意見の一致を缺く所あり殊に帝國使節は支那側の提議及列國側の仲裁的提案にも拘らず第一問題に付ては一九一一年乃至一九一三年の海關統計面價格の五分説を主張し、後漸く一九一一年乃至一九一六年の戰前戰後に涉る六年間統計面價格を以て標準價格と爲さんことを力説し、第二問題に付ては暫行稅率無要論を唱へ暫行稅率の協定にも本稅率協定と同一の手續と時日とを要するを以て直接本稅率の協定に入るに如かずとの意見を固持して一步も退かず、あはや今次の會議より離脱し獨立して北京當局と協定せざるべからざるの窮地に陥りしが、我當局の誠實強硬なる主張談判は遂に支那及列國使節の容るゝ所と爲り、本稅率は一九一一年乃至一

六年の平均海關統計面價格に依り、暫行稅率案は之を撤回し直接本稅率の協定に就き交渉を進むることと爲れりと傳へらる

◎埠頭料金改正

本年四月二十二日軍告示第六十八號を以て公布せられたる青島埠頭料金表中(乙)料金率第四貨物運搬料(協會月報第四號所載參照)に就き七月十二日軍告示第百三號を以て左の通り改正せられたり

一 構内運搬(屋内屋外共)

運搬距離百間未滿

一噸ニ付 銀七錢

百間以上三百間未滿ハ百間未滿ヲ増ス毎ニ一噸ニ付 七

三百間以上ハ百間未滿ヲ増ス毎ニ一噸ニ付 四

ヲ増ス

但シ陸揚又ハ船積ニ伴フ運搬ハ六十間未滿ノ場合ニ限り無

料トス

一箇ノ重量若ハ容積一噸ヲ超過スル貨物ニ對シテハ船内作

業料率第五ヲ適用ス

二 貨車積卸

イ 石炭積又ハ卸

一噸ニ付 銀六錢

ロ 骸炭積又ハ卸

一噸ニ付 八

ハ 其ノ他ノ貨物積又ハ卸

一噸ニ付 一〇

貨車積卸ノ建噸ハ鐵道所定ノ建噸ニ依ル但シ一箇ノ重量一

噸ヲ超過シ若ハ一箇ノ容積四十立方尺ヲ超過スルトキハ船

内作業料率第五ヲ適用ス

陸揚ノ際貨車ニ直積シタルトキ又ハ船積ノ際貨車ヨリ直積

シタルトキノ貨車積卸料ハ各料金ノ半額トス

(右譯文)

一、域内之運搬(棧内棧外均同率)

運搬距離未滿一百間時 每一噸 銀七錢

一百間以上未滿三百間則每增未滿一百間每一噸 七

三百間以上則每增未滿一百間 每一噸增 四

但卸船或裝船應有之搬運乃限未滿六十間不取費款

一箇之重量或容積超過一噸之貨物適用船内作業費率之第五項

二、貨車之裝卸

甲、裝煤或卸煤 每一噸 銀六錢

乙、裝骸炭或卸骸炭 每一噸 八

丙、其他貨物之裝載或卸下 每一噸 一〇

卸裝貨車之起碼噸數依照鐵道所定之起碼數但一箇之重量超過一噸或一箇之容積超過四十立方尺時適用船内作業費率之第五項

卸船之際直裝貨車或裝船之際由貨車直裝則裝卸費項均減一半

◎上海取引所開業期

株式會社上海取引所は其營業所たる當地江西路福州路角の家屋を目下銳意修理を急ぎつゝあるが九月十日頃竣工の豫定にして當局者は是非共九月中に開業したき希望にて切りに進捗を圖りつゝあり

資料

◎經濟上より見たる支那

佛誌「レコノミスト」、フランセイ「最近週刊紙上の海外記事欄に「ジャンドルセンヌ」なる署名を以て執筆せられたる支那」を題せる一文あり試に之が内容を開するに先づ其の財政一般を觀察し次で其商工業等の概勢を叙述したるものにして記事簡約而も所説大に肯綮に當るものあり、苟も志を支那の經濟界に立たんとする者にして一讀の勞を吝まざらんか爲めに他山の石となすに足るものあるべく乃ち茲に之を抄譯して敢て參考に供せん（大阪市商工時報所載）

一、財政

客年八月を以て對獨宣戰を執行したる支那は太平洋方面の列國中最も後れて對獨戰爭の渦中に投じたる者ならずむば非ず而して支那が奮然立て戰鬪列位に加はるべく決意するに至れる事情の經緯は既に世の知悉せる處にして曩に米獨間の國交斷絶を見るや北京政府は之と同時に伯林及ブリュッセル各駐在自國大公使を召還し此に東洋の老大國に對する獨逸の野心は端なく一頓挫を見るの止むなきに至れり

副總統馮國璋氏の進で大總統の地位を占むるや、氏は其の政策實行の一として對獨宣戰を執行すべく著々之が準備を整へたる結果東洋方面に於て獨逸に依て企畫せられたる諸般の事業は殆ど決定的に其根底より覆沒せられ従て支那工業方面に於ける其大々の夢想も亦端なく宣戰の曉鐘に叩破され了んぬ、彼が心的創痍の深且大轉た察するに餘あり

世界的大戰の影響する處北米及日本の商業は直に刮目すべき大發展を遂たり、其太平洋方面に脚底を立る關係上、支那も亦其商

業に於て是等と同一の發展を遂ぐべきは蓋し當然の趨勢と謂はざる可らず、而も絶大の富源を擁する此大國にして日、米兩國の如く敢然慕進して其好位置の眞價を發揮する能はざらんか之が禍を爲すものは實に其内政の紊亂に外ならざるなり、今日に於ける支那内政の紛争は千九百十一年（明治四十四年）を以て其端を發し爾來歐洲戰亂の繼續に伴ひ支那に對する獨逸の陰謀は當年の大總統袁世凱氏の策應と相俟ちて國內の秩序公安を攪亂せる其幾許なるやを知らず、然ども袁總統の没後北京政府の聯合國側に對する好感的文持、千九百十六年（大正五年）七月三日の日露協約發表、就中支那の對獨宣戰の一事は少くも支那をして其不測の禍因より脱出せしむるの機運を促進したるものと謂はざる可らず

今最近即ち千九百十七年（大正六年）六月三十日に於ける支那共和政府一箇年度の豫算表を見るに左の如し

收入

地租	九〇、一二五、七八四兩	關稅	七三、〇五六、六六三兩
鹽稅	九六、七六七、〇一〇	商品稅	四二、七一九、一九四

以上の收入並臨時收入を合せ四億七千二百八十三萬八千五百八十四兩を算せり

支出

外交部費	四、四四六、五四八兩	內務部費	四二、五七〇、一〇九兩
財政部費	六一、七九二、九七〇	陸軍部費	一五六、六〇六、〇四七
海軍部費	七、三〇四、一三五	司法部費	九、三三七、一五六
教育部費	四、四三三、八九三	農商部費	二、七三四、七九〇
交通部費	一、五三三、六〇六	蒙古西藏事務費	一、〇四四、二一六

以上經常費並臨時費を合せ四億七千二百八十三萬五千八百八十四兩を算せり

右の豫算表に依れば支那共和政府の主たる財源は關稅及鹽稅の二種たるを知るべく、而も關稅は有らゆる輸入稅及外國船に對する輸入稅の徵稅權を雇外國人に委任行使せしむるものにして商業の發達に伴ひ關稅の收入漸を以て増加し爲に千八百五十三年を以て制定せられたる稅法に據て徵收し來りたる內國商品稅の如き國內各地方の荷動の不振と共に政府の收入上極めて微細なる部分を占むるに過ぎることとなり試に最近三箇年間の海關稅及鴉片輸入稅を舉れば左の如し

關稅	鴉片輸入稅	合計
一九一三年	四、五七〇	三、八九一、三三
一九一四年	三、三九三、三三	二、五八三、三三
一九一五年	三、八八四、三三	三、九一七、五五
	三、八八四、三三	三、九一七、五五

而して一九一六年大正五年に於ける關稅の收入は三千七百七十五萬兩を算せり、然れども一方支那は外債負擔額の大なる點に於て他に多く其比を見ず斯るは實に支那に向て自國の製出に係る工業品の販路を擴張せん爲め猛烈に經濟戰爭を敢行し來れる歐洲各國米國及日本等に對する貸借關係の結果に外ならず、歐亂勃發前に於ける支那の外債負擔額は一億六千六百七十五萬五千七百六十七磅を算せるが、曾て前米國領事デムビー氏が詳細の説明を爲して世の注意を促したるが如く、由來支那人は多く土地其他の不動産に投資するも一般に株券等動產的物件よりする收益の觀念薄きが故に支那内地に於ける採鑛、鐵道、軌道各運輸、水道、送電等公益事業の多くは各地方土著支那人の共同出資を俟たず外國人の出資の下に設計せらるゝ狀態にあり、此關係に於て支那政府の外債の殆ど全部は外國政府の仲介に依り之が契約を締結したるものならずんばあらざるなり

支那現在の外債は日清戰爭に際し「香港及上海銀行團」と一千萬

兩借出の契約を結びたるに始まり次で敗戰の結果日本に對し一千萬兩の償金を支拂はざるを得ざるに至り、千八百九十五年當時の露國大藏大臣ウキツト氏の援助に據り露國政府の保障の下に巴里に於て四億法の債券を發行したり、而も支那は假令此對外戰の苦痛を嘗ることなかりしとするも其後拳匪の騷亂に由り最も苛重なる債務を負擔するの止むなきに至り、諸外國と數次の折衝を重ねたる後左の如き割當方法の下に總額四億五千萬兩の償金を各國に支拂はざる可らざることとなれり

獨逸	澳太利	白耳義	西班牙	北米合衆國	佛蘭西	英吉利	葡萄牙	伊太利	日本	和蘭	露西亞	諾威瑞典
二〇〇〇一	〇〇八八	一〇八八	〇〇〇三	七二二三	一五七七五	一一二四	〇〇〇二	五九一	七七三	〇一七	二八〇九七	〇〇二三
金 百萬兩	九〇〇〇〇	四〇〇〇	八〇四〇	〇〇一〇	三二九〇	七〇八七	五〇六二	〇〇九〇	二六六〇	三四七九	一三〇三〇	〇〇六〇

總額ニ對スル歩合
該償金は年次分納の方法に依ることとし先づ其第一次として千九百一十年全額の一パーセントを支拂ひ爾後千九百一十二年乃至千九百四十年間に其全額の支拂を了することとせるが最近千九百十六年(大正五年)の年次支拂額は二百七十七萬二千五百磅を算し

たり

以上の外支那政府は尙千九百十四年(大正三年)に於て額面總額五千二百十五萬七千磅の鐵道債務を有し又千九百十三年(大正二年)に於て總額七千六百三十六萬五千二百九十八墨銀の短期債務を有せるが内二千八百八十九萬百五十三墨銀は外債に屬す支那の國債は之を中央政府債と地方政廳債との二種に分つを得即左の如し

	中央政府債磅	地方政廳債磅
英 吉 利	四二、四五四、〇〇〇	二、三三八、〇〇〇
獨 逸	二九、七〇六、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇
佛 蘭 西	六、七八四、〇〇〇	四六二、〇〇〇
露 西 亞	一五、八八七、〇〇〇	—
日 本	一一、九六七、〇〇〇	三四二、〇〇〇
北米合衆國	三、九〇七、〇〇〇	三、七三八、〇〇〇
白 耳 義	二、九〇七、〇〇〇	二一、〇〇〇
其他ノ諸國	四四、三一五、〇〇〇	五、七八八、〇〇〇
合 計	一五七、六一七、〇〇〇	一四、二八九、〇〇〇

支那は今後と雖も仍は財源作出策として鐵道を敷設せざる可らずして爲に巨額の資金を要するものあり、千九百十四年末(大正五年)末に於る支那の鐵道は既に開通せるもの九千六百基米敷設を了せるもの三千六百八十基米、設計濟のもの千四百基米なりき、惟ふに世の財政家たる者は如上支那財政の經過に對し深大の注意を拂はざる可らず、而も今や各國の財源は其大部分を軍事費に支出せざる可らざる狀態に在るが故に其富力を國內に集中する點に於て特に努力を要せずんばあらず、然ども亦此觀念より推論すれば亞細亞大陸の平原は太平洋方面の土大國民たる日本人及亞米利加人の勢圏に屬すべきものたるは理に於て否む能はざる處ならん

二、商 業

前篇に於て支那政府の財政一般を記述し繼續的内紊亂の結果として勃發せる往年の國內動亂に因り其國債の非常なる巨額に上れる事を説明したり、而して其商業の方面に關しては歐洲戰爭の開始に伴ふ千九百十五年(大正四年)五月二十五日の條約に依り支那をして獨逸の魔手より逸脱せしめ以て其活動を自由且容易ならしめたるにも拘らず該老大國が此多幸なる機運に乘じ其膝下に提供せられたる多大の利益を完全に拾收する能はざる事を茲に言明するの止むなきを見る、惟ふに千五百十五年及十六年に於る支那内地の天然物の輸出は未曾有の多額に達したるも若し其國民にして更に利益享有の概念に富みたらんには其輸出額は一層多大なるものありしならん

從來支那政府は頻々たる國內動亂の處置に忙殺せられ爲に其國民に適當の助言又は搖護を與へ以て歐洲戰爭の推移に伴ひ發生すべき諸般の利益を獲得すべく其驥足を延べしむるの餘力を有せざりしなり、茲に於て支那の商業家又は製産家は其商品若くは製品に販賣上之が注文或は取引價格を知悉するの機關を有せず、爲に勢ひ自國の各開港地に在住する外國商人の仲介に據らざる狀態にあり而も支那の生産品は概して比較的粗雜にして且不手際なる爲め其斤量の不足價格の不廉又は船賃の關係等は歐米方面に屬する輸出制限の大なる原因たらすんば非ず、此故に若し船賃の暴騰を見んか輸出の絶對禁止に遇ひ然らざる迄も不廉なる船賃をも尙且忍ぶに足る程に爾く廉價なる製品に非ざれば之を輸出するの望なき也、千九百十四年に七千四百五十六萬四千二百八十五磅千九百十五年に五千八百九十三萬九千八百十

九磅を算せる支那の輸入額に對し其輸出額は千九百十四年に於て四千七百十一萬六千四百五十三磅千九百十五年に於て五千四百三十二萬千六百九十九磅を算するに過ぎりき其の取引は各國との間に左の如く行はれぬ

輸入

國名	一九一四年	一九一五年
英吉利	一四、三四〇、〇六一	一〇、一九二、六七一
香港	二二、七五四、八二九	一九、二五〇、三一八
印度	五、三四八、三九六	五、二八五、一八〇
露西亞	二、九九五、二一八	二、二〇八、二一五
佛蘭西	六三八、二〇八	七三六、六七一
獨逸	一、九二七、五四一	二〇、八〇九
伊太利	一〇六、一〇九	三三、七一四
北米合衆國	五、五七三、六五五	四、八〇四、〇七二
日本	一六、四九三、八九七	一六、四三〇、八四五

輸出

國名	一九一四年	一九一五年
英吉利	三、〇一一、五九四	五、六二四、四〇一
香港	一二、七六四、六三二	一三、五〇九、五三八
印度	九二六、一六七	一、〇三〇、〇六四
露西亞	五、六七〇、八六六	七、七〇三、二六二
佛蘭西	三、一二四、五一五	四、一八一、七八三
獨逸	一、四〇四、一五〇	一〇
伊太利	七二二、六三六	一、二二一、三六八
北米合衆國	五、四四七、六五二	七、八五七、二〇五
日本	八、六七五、一六九	一〇、八〇七、五六七

歐洲戰爭の支那の商業に及ぼせる影響の如何を視んが爲め、茲に其主なる輸出入品の統計を掲げるは敢て無益の業に非るべし即ち左の如し

品名	輸入 千九百十五年	輸出 千九百十五年
鴉片	三、二〇三、二九二	五、一三六、〇四八
蠶豆		

綿布 一九三六二、四一〇
 羊毛 二二四、三六二
 金屬 二、三九三、四四八
 米 三、二八五、八〇五
 紙卷煙草 一、〇一五、八五八
 炭 一、〇五〇、八九三
 魚類 一九三一、三四五
 茶 七二〇一、二〇八

而て最も多額の注文を受たるは植物性油、各種の種子類、生絲生革、鞣革、茶及或種の鑛物類なるが就中是等の輸出總額の五十パーセント占めたるは茶及生絲の奢侈品なりしに徴し支那の輸出品は軍需品として大なる利益を收得すべき素質を有するものなく從て支那の商業は何等歐洲戰爭の恩恵を蒙らざることを知るべきなり

尙支那の商業の趨勢を的確に觀察せんには其主要なる各開港地に於ける輸出入貿易を通觀せざる可らず乃ち此意味に於て左に之を掲ぐべし

開港地	人口	外國ヨリ輸入	國內各地ヨリ輸入	輸出
三姓	三七七〇	一八八四三	三九六七	二二五二七
安東	三〇四〇	一三、五三〇、六六	一八四、四〇〇	八八〇、二四五
牛莊	四三三〇	二〇、五二二、〇〇	九四六、九六六	二〇、三三八、八三
天津	八〇〇〇	五、八八九、九六六	三、三三三、五八	四、八九九、六四
重慶	五七五〇	八、九七五、五〇	九、九四八、四六	二、五五七、二六〇
長沙	二五〇〇〇	一、四四八、六六	七〇、五九九	三、〇五一、二四
漢口	一、三三二、〇〇	四、三〇六、五八	一、五六四、五八	一〇、一九六、三六六
上海	一、〇〇〇、〇〇〇	六、五三三、二〇八	三、八四四、〇九〇	一〇、三九五、六二〇
蘇州	五〇〇、〇〇〇	二、四四二、二九	九九、三五六	二、四二七、八二
杭州	五九四、三三	二、九六六、四〇〇	四二〇、六六六	二、八三三、二六八
寧波	四六五、〇〇〇	八、六七九、九六	七三三、三三	一〇、〇九五、二

州	東	門
六四〇〇〇	九〇〇〇〇	六二〇〇〇
五五七七七	二五八七二	三五一九六
四六八六二	二九五八〇	五九四九〇
九〇八二四	四八三六二	一四〇一〇

又英吉利支那間の貿易は最近三ヶ年間に於て左の計數を示せり

貿易關係	年	代
支那ヨリ英國へ輸入	一九一四年	一九一五年
英國ヨリ支那へ輸出	一九一四年	一九一五年
支那ヨリ英國へ輸入	四七二八四	七〇四八三
英國ヨリ支那へ輸出	三〇一四四	八五五五五
支那ヨリ英國へ輸入	四七二八四	七〇四八三
英國ヨリ支那へ輸出	三〇一四四	八五五五五

以上提出せる各種の統計に依て見るに支那は例へば其隣國たる日本の如く歐洲戰爭勃發以來今日に至る迄著しき經濟上の發展を遂げ得ざりしことを認めざるを得ず、所謂中華民國は固より殷富の國土たるを否認する能はざるも要之由來耕作を以て國とし工業國としては少くも初歩の程度に在るものと謂はざる可らず、蓋し千九百年以來歐洲人より財政上有益なる協力並に各種の専門的智識を賦與せられたる支那は其園藝及蔬菜果樹の培養に就き著き發達を遂げたる外其北部に於て小麦、大麥、玉蜀黍其他の穀類の耕作成功し南部に於ては米、甘蔗、藍等の栽培に好績を收めたり、又千九百六年以前に在ては罌粟の栽培全國に亘り非常に盛にして其產額亦莫大なるものありしが、鴉片戰爭以來全國の鴉片栽培は急激の勢を以て減少したり而も該戰爭は千九百十一年五月に調印せられたる英支條約に依り支那に對する印度產鴉片の輸入額に大なる制限を加ふることとなり平和克復を見るに至れり

支那に對する歐洲人の干涉にして何等かの福音を支那に與へたりとせば先づ僂指せざるを得ざるは其工業の發達する事實に外ならず、由來支那人は明りに土地を發掘し或は鍛鐵場、溶鑪爐

を築造し又如何なる事情を以てするも古來祖先の來往に供せられ若くば祖先安眠の地の附近に開通せられたる道路を變更するが如きことあらんか必ず其威靈の怒に觸れんとの信念を有し絶對に之を拒否するの風なきに非るが在支宣教師ルネイ、ド、メイナル氏の言へる如く、輓近數年間に於て種々の障礙を排し漸を以て支那内地に所在鑄鋼所、鍛鐵場其他の工場開設せられ、特に河南、山西、直隸、山東、雲南の各省に於て炭坑事業の發達を來し、北部支那に於ては鐵道網の急速なる擴張に依り頓に各地方相互の交通に利便を開拓せり

更に後編に於て支那の工業方面に付き記述を試み以て讀者の注意を促さんと欲す

三、工業

前篇に於て一言せる如く支那は諸般の事業特に工業の方面に對し久しく惰眼を貪り居たりしが、今や先進諸國の事例に鑑み敢然邁往の態度に出んとしつゝあり、而も從來の趨勢より見れば支那を目して工業國と言はんは何人と雖も難んずる處なるべく其事業界に活氣を帶び來れる時代なかりしに非るも機械類の輸入は極めて微々たるものに過ぎざりしなり、然ども將來に於る支那國勢の盛大賑富を招徠せんには是非とも其工業の發達に依らざる可らざるは明かにして爾來支那人も亦之を自覺せるものの如く、其兆候隨所に發現し各地に製粉所、工作所の開設頻々たるを見るに至りしは大に慶せざる可らずして之が爲め機械の注文、工作所の整備等逐年盛況に赴かんは今より期して俟つべく現に廣東、上海其他の方面に於て綿布、羊毛、生絲、紡績等の各製作所の開設經營せらるゝ如き其の機運の嚮ふ處を察すべ

し、千九百十四年末に於て支那の工場數四十五之が職工百廿五萬人を算し、重要都市に於る米、麥の製粉所は競ふて其舊式の設備を撤廢して新式の機械を据付るに至れり、又漢口附近なる漢陽の製鐵所は六十哩を隔つる大冶鐵山より鑛石の供給を受け居れり、而て千九百十四年に於て支那に於る機械の輸入額は六百七十萬兩に達し、何人も其倍々多額に上るべきを期待したるが、事實は之に反し千九百十五年に於て四萬七千兩に大激減を見たる如き畢竟國內擾亂の爲に受たる大打撃に外ならず、由來支那は其地下に無盡藏の富源を有し此國土の素質よりするも將來に於る其工業の發達は必至的現象と謂ふべく、否支那の國勢は現に復活の曙光に接しつゝあるものと謂ふべし、支那本部十八省及東三省共に所在石炭鑛脈を有し、實に世界に於る石炭產出國として第一位を占め其坑區の幅員十三萬三千百十五エークル（一エークルは四十チャール四七）にして千九百十五年の石炭產額實に千八百萬噸に達せり、此他鐵坑は古來製鐵事業の發達せる山西省に最も多く直隸、山東其他の各省も亦所在鐵坑を有し滿洲にては鐵、石炭混交の鑛石を産す、鐵の最近年產額は四十六萬八千六百三十八噸なるが就中大冶の鑛脈は世界中最も豊富なるものと目せられ千九百十五年の產額五十四萬九千八百十九噸に上れり、次に揚子江上流及陝西省方面に於て多量の石油を産出し雲南省は多くの銅坑を有し隨て古來製銅業の經營大に見るべきものあり、錫は支那產の金屬中輸出方法に於て至便の位置にあり、其產地たる雲南方面に於て之を發掘し蒙自を経由して香港に輸送し、同地に於て船積し弘く諸外國に輸出するものにして、千九百十五年の產額は七千九百四十三噸に達せり、安質母尼は湖南省を以て其產地とし千九百十五年には二萬三千四

百七十二噸を産出せるが、平均年產額は二萬八千三百十六噸を算せり、中世紀時代に在ては支那を以て其地下に豊富なる金地金を包藏する不思議なる國土と傳稱したりしが其年產額七萬五千五百八十二オンスにして銀は十萬七千五百五十五オンス、鉛は一萬三千五百二十七噸、銅は十萬九百六十三噸を算せり
前に述べたる支那國內の工業の進歩と歐洲人の爲に多數の開港地を設定したるとに因り、支那人と歐洲人との商業取引は非常の速度を以て其發展を遂げたるが遺憾にも佛蘭西は極東に對する勢力移植の關係上他列國の後塵を拜せざるを得ざる位置に在り、換言せば二等國に伍して僅に其第二位を占むるに過ぎざるなり

支那に於る經濟的位置上佛蘭西は何故に爾く劣弱なる境遇に呻吟せざる可らざるか、惟ふに之が原因は一にして足らずと雖も前に紹介したる宣教師ルネード、メイナル氏の所説に従へば頻々たる駐支領事の更迭を其主因の一に數へざる可らず、之を從來の事實に徴するに佛國領事にして同一開港地に五年若くは六年間駐在する如きは極めて稀にして、斯の如きは寧ろ佛蘭西の外交方針が果して向上てふ觀念に基けるや否やを疑はざるを得ざるなり、領事の任期爾く短きが故に彼等は皆任地の土語、慣習、風俗又は領事館より發せらるゝ對地方政策等に就き殆ど無智無頓著と謂ふべく、今日天津若くは芝罘に駐在するも、明日は假令南米智利のベノスアイレス又はサンチアゴに轉任せしめられざる迄も、上海北海に將た廣東に轉々赴任せしめらるゝ狀態にして各自到底永く同一地に駐在する能はざるを知るが故に自ら其職務に忠實執著なる能はず、若し自己の擔當事業の成果を見るを欲することを以て人情の常なりとせば、斯の如き亦止

むを得ざるものと謂ふべきも斯の如くにして謫詐權變毫も油斷ならざる當該土民を相手とし商業方面の開拓を全ふせんは到底至難の業たるを免れず、左にド、メイナル宣教師の言へる處を揚げ以て此間の消息を知悉するの一助とせん

千九百年北京に勃發せる拳匪の變及千九百十一年乃至千九百十二年の革命の亂に際し、佛蘭西の外交官は駐支自國宣教師の書信に依り辛くも之を豫知するを得たるに止まり、從て之に關する處置に就ても宣教師の如く何等定見を有せざりしとは今日迄世に知られざる處ならん

千九百十一年の革命騒亂に關し予は騒亂勃發前三箇月を以て北京駐在佛蘭西公使に報知する處あり、又千九百十一年八月申陝西省方面に於て罌粟の栽培又は鴉片の賣買及喫煙等從來に比し一層盛に流行し居れる旨を公使に報知したるが、最近數日前北京及上海の日刊新聞紙上に於て各國公使より其本國政府に對し今回支那政府が國中一般に鴉片の栽培、賣買及喫煙を禁じたることを報告したりとの記事を見たり、而も山東江蘇兩省の警察官の手に沒收したる鴉片の價額百萬法以上に達したるに徴するも禁令施行の效果如何に大なりしかを察すべく、若し税關差押の分を合せば江蘇省のみにても優に二三百萬法に達せるならん

極東に對する佛蘭西の商業不振の原因として上述の外又佛國商人間の不統一てふ事實を擧ざる可らず、外國に於て商工業方面に成功を收めんと欲せば、先以て當該國民の需要及嗜好に投ずるの用意の下に最も其顧客に適當せる商品を提供せざる可らず由來支那人の多數は貧困なるが故に之に供給すべき商品は成るべく廉價にして一般の需要を充すべきものならざる可らず、而

も從來佛蘭西商人の對支商策は全く之に反對なりしを否定する能はざるべし

右の外船賃の不廉に伴ふ商品價格の不廉も亦佛蘭西對外貿易の不振の一因たらざるを得ず這は敢て對支那とのみ言はず爾餘の外國に對する場合も亦齊く留意すべき事項なるが佛國の輸出商品は本來不廉の素質を有するを以て船賃の關係上、更に其價格の昂騰を招致する如くんば到底取引の隆盛を期待すべきに非なり

佛蘭西郵船の船賃の不廉なるは寧ろ他に類例を見ずと謂ふべし左に揚げたる千九百十五年一年間に亘り、支那の各港に入航せる内外國船の隻數及噸數を一見せば、其船籍所屬國の國旗の飄影が如何に其母國の對支商業關係の粗密を語るかを知らんと共に佛蘭西の勢力の如何に貧弱なるかを想ふに足らん

船籍所屬國旗		隻數	噸數
支那	英吉利	一八、七二九	二、六一三、九四七
日	本	四、七九一	四、二四一、三六七
露西亞	佛蘭西	二、六一八	三、八三九、三三六
佛蘭西	獨逸	七六三	四一三、五七二
佛蘭西	獨逸	一九一	二三四、八一〇
佛蘭西	獨逸	三九二	九六、一八三

四、各國經濟的の勢力

前編に於て、支那に對する商業關係上、佛蘭西の他列國に比し極めて劣位に在ることを敘述せり、今ま各國の勢力特に敵國たる獨逸の地歩に關し、讀者の一瞥を乞はんと欲す

英吉利、北米合衆國及日本は由來對支貿易に於て最も有利の地位を占めつゝあり、曩に揭げたる對支商業方面の統計上其商取引額、入航船舶の噸數著く他のそれを超越し、其他是等國民の支那内地に於る諸般特權の範圍、漸を以て擴張せられ、又支那内地に於る其從業者の、驚異すべき勢を以て次第に増加するの事實に徴するも、坐ろ羨望に堪へざるべし、就中、日本は最も支那に近邇せるより、對支商業關係上他國に比し極めて優越なる地位を占め、隨て其製產品に對して多數支那人の顧客を有し對支輸出の進勢著々として見るべきものあり、而も日本の商業家及產業家は、支那内地の各方面に入込み、製品の販売其他の方法を以て盛に自國の利權扶植に努力しつゝあり、又日本に於ける纖維工業發達の結果、日本製綿布漸次其需要を増加し、爲に從來有力なる輸入品たりし米國綿布は少からず打撃を受けつゝあり、又支那工業の計畫に對する日本人の投資額甚少からず上海及漢口に於る製綿、製紙、製粉等の各事業を以て其主たるものとし、滿洲に於る豆類及乾蔬菜の製造事業も亦頗る盛なり特に千九百十五年五月二十五日の條約締結に依り、滿洲蒙古及山東省を開放し外國人の商業的活動に委して以來、支那に於る日本の經濟的立脚地は更に鞏固を加へたり

日本に次で支那の市場に活動を試み居れるは米國なり、支那の對獨宣戰以來、支那就中上海に於て、米國商業機關の支店頗に其數を増加し孰も多大の利潤を收めつゝあるが、支那に對する米人の同情なる旗旌は實に米人活動の根柢を築けるものと信ぜざるを得ず

支那に於て大なる經濟的勢力を有する白耳義に就き、特に一言せざる可らざるものあり、由來白耳義は、支那内地の鐵道敷設

に付き極めて優秀なる特權を有し居れるが斯るは其駐支商工務官たる者、熱烈なる不斷の活動に依り、極東の商業方面に最も有利なる立脚地を築上げ、之を母國に寄與したるが爲めに外ならず、斯して白耳義は先づ北京より漢口に至る京漢鐵道の敷設權を得、其竣工後之を支那政府の經營に移せり、此他又遠く甘肅と黃海とを得、將又、支那の東北部と西南部とを連結すべき二大鐵道の敷設權を獲得したるが、兩線共に延長各三千基米の大設計にして、前者は黃海沿岸の海州に起りて甘肅省の首府たる蘭州府に達し夫より更に支那土耳其斯坦を通過して露西亞に到らんとし、後者は山西省の北邊多倫諾爾^{トウレンノール}を起點とし、西南く遠四川省の要市たる成都に達し、夫より雲南を経て東京^{トウケン}、緬甸に到る大計畫なり、又支那に於る纖維工業の創始に就き特に注目すべきは、夙に甘肅總督の允許の下に蘭州府附近に於て、白耳義の經營の下に纖維工場の開設せられたる一事なり、該工場は年々莫大なる駱駝毛織の軍隊用被服を製出して支那政府の需要に應せり、由來支那人は其家の窓戸に油紙を貼用する習慣なるが近時板硝子を以て油紙に更ふる者多く、是白耳義より板硝子を輸入したるに始まれるものにして、其輸入年額二百萬乃至三百萬法を算せり、若し歐亂の打撃なくむば、北京に於て白耳義人の經營に係る板硝子製造會社の創設を見る筈なりしなり

支那の對獨宣戰を見る迄、獨逸は支那に於て多數の駐在商務官を有し、所在に銀行を開設し海運を盛にし、輸出を獎勵して頗る優勢の地位を占め居たり、而て獨逸は其起業方法に於ても亦軍事的形式を用ひ、例へば支那の一都市に對し電燈を供給せんと欲するや、其設計書、工業見積書、參考書其他の必要書類を起案し、之を當該都市の官憲に示して交渉を開始す、而も其書

類に掲ぐる處の収益便利に關する説明たる、結局當該官憲をして又なく有利の事業として之を肯諾せしむる程に爾く巧妙且周到を極むるを常とす、尙其事業に對し當該地方の課税を擔保に供せしめ、三年乃至五年を期限とし年七朱乃至八朱の利率を以て之が資金の必要額を前貸すべき旨を提言し、愈々當事者相互に適當の利益を收め得べきことの解せらるゝを俟ちて契約書の調印を了し、電燈設備の維持、修理、擴張等は舉て契約當事者たる獨逸會社の負擔に歸す、支那に於る獨逸の經濟的事業は、一般に此方針の下に、銀行團若くは商業團體の手に依て其歩武を進め來れり、斯くて支那地方官憲より拂渡すべき利子に充當されたる地方税金は之を据置きて更に資本元金に繰入るゝ方法を取れるため、既に戰前に於て、此種利子金の蓄積非常の多額に達したり、即ち獨逸起業家は、此事業經營方針の下に日々の收益以外又極めて安全に更に指を他の事業に染むべく一の起點を捉へ得るものと謂はざる可らず

獨逸は特に山東省に於て特殊なる權力の發展を遂たり、即其辛辣なる外交手段に據り、鑛山採掘、鐵道敷設及市街地開拓の特權を享有實施したり、夫の近く日本の手裡に歸したる青島、又は千九百十五年五月二十五日の條約に依り支那政府に還付せる鑛產地等は、支那に於る獨逸人の經濟的勢力如何に強烈なりしかを最も雄辯に説明するものと謂ふべし、又獨逸銀行が上海、廣東、漢口、香港、北京、天津、濟南府、青島等に支店を有したる外、獨逸の各種保險團體は各開港場に其代理者又は事務員を常置せり、今ま對獨逸戰前の支那の樞要地十九箇所に於る居留獨逸商人の戸數を擧ぐれば左の如し

地名 戸數 地名 戸數

上海	約三〇	青島	同二二
廣東	同四	香港	同九五
北京	同七	濟南府	同九
重慶	同四	天津	同二三
牛莊	同二	漢口	同八
芝罘	同三		

獨逸は又曾て其勢力扶殖の一端として、北京、天津、上海及漢口に於て二種の獨字新聞を發刊したるが固より其發行紙數も少く、從て其勢力は是等の各地に於て發刊さるゝ英字、佛字の各新聞のそれに及ぶべくも非りき、現に北京に於てに二種の英字新聞と一佛字新聞の發刊を見つゝあり、仍は支那政府の國債中獨逸に對するものゝ頗る多額なるは既に記述したる處により明ならんが、千八百九十五年より千九百十三年の間に成立せる入口の對獨債務の合計額、實に四億マルクに達し、夫の北清事變に關する對獨償金額のみにて二億七千五百十六萬五千四百二十三マルクを算したるが、千九百十七年一月一日に於る其償還殘存額二億五千五百七十一萬四千六百六十二マルクにして、千九百四十一年一月一日迄に其全額を還了せざる可らざる次第なり對支商業上、獨逸の活動以上の如く目覺ましきものありしにも拘らず、支那對獨官戰てふ事實は一朝にして根柢より之を覆滅し去れり、此時に方り、佛蘭西が對支商業なる舞臺面に光榮ある地歩を占んには果して如何の策がある、以下聊か私見を述べんとす

五、結 論

歐亂平定の後世界的經濟戰の風雲を捲起すべきは今より逆睹す

るに難からざる處なるが、就中支那四省の山河は、最も自由なる商業の大舞臺として、吾等の活躍に委すべく眼前に展開する以上、戦後此局面に第一石を打降ろすべく、今日に於て充分の準備を爲すことは最緊急の要務と謂ふべし、而し之が應急策として政府躬ら實行せざる可らざるは、其領事をして永く同一地に在任せしむると同時に、更に商務官を任命し領事と同一地に駐在せしめて自國商工業者の諮問機關たらしめ、又海運業者をして出來得べく運賃を低廉ならしむるやう、適當の措置を施さざる可らず、從來佛國郵船の獨逸、英吉利、日本其他のそれに比し著く不廉なるは遺憾なり

次に私人經營の方針として先づ服膺せざる可らざるは「協同は力あり」の格言にして、實效は協同を俟て初めて之を期待すべく、英國人は支那に對する商策として最も克く此秘訣を解得じ從來一大對支商業團體を組織して北京に委員を置き、諸般の事業計畫に就き大なる權限を付與して大なる利益を保有し其統一せる方針の下に適宜多數の小團體を組成し、其相互間絶對に營業の競争を避け、最も確實に各自の發展を遂げつゝあり

米國人の手に成れる報告に據れば、北部支那に於る多數の都市に對し、衛生に關する機械類を輸出するは、將來最も有望の事業と謂ふべく、支那が歐洲文明國の斬新にして實際的な物資の輸入を渴望しつゝあるは今更暇を要せざるが、現に北京市街の如き、何等水道の設備なきのみならず、外國人の經營に屬する旅館其他數個の大建築を除く外一般の衛生設備極めて幼稚なるが故に、實際に於る要求の關係上、之が整理擴張は何等の困難なく其目的を達し得べし

湖南及山西方面に於る炭坑は英佛共同會社の經營に屬し、其產

出額豊富にして頗る好況を以て今日に到れるが、將來と雖も固より有望の事業たることを失はず、斯して鐵道の擴築工場の新設と相俟て石炭の販路は著き發展を遂げたり、又支那より年々歐洲方面に輸出する皮革類の數額莫大なるが故に、天津、芝罘廣東若くは上海等に皮革商として店舖を構ふるは最も有望の事業なりと信す

支那は夫の工業國たり、將又氣鋭の新進國たる隣邦日本に倣ひ曩に新式の軍隊を編成したるより、兵士の被服用として多量の羅紗地を要求せざるを得ざるに至り、支那政府は從來之が供給を専ら外國に仰ぎ來りしが、若し内地に製絨所を起し、其製品の實價にして政府の希望に副ふ不得ば、政府は進で之に投資するに吝ならざるべし、又現今支那には騎兵隊の編成なきも、種馬飼養場若くは馬匹馴育所の設なきに非るを以て、佛國政府は其保護の下に自國の馬匹關係者（オンム、ド、シユヴァール）と前記飼馬機關との關係を開始せしめ以て相互の利益を計るの必要なしとせす

支那に隣接して、印度支那の植民地を有する佛蘭西は佛本國と支那との貿易に關する不便利を償ふて餘ありと謂ふべく、即ち佛本國の工業製品として不適當若くは不割益なるものと雖も印度支那植民地に於て其製産比較的容易なるのみならず、其位置支那の各開港場に近きのみならず、ボルネオ、比律賓、蘭領印度及日本等へ遠からざる爲め比較的低廉なる船賃及海上保險料の下に貿易に従事し得、且其工業製品の工賃も亦比較的低廉なるが爲め輸出貿易上諸外國の同種品と優に比肩馳驅するに足るべし

今や東京に於て硝子、皮革、鈕、化學工藝品及支那に於て豊富

なる鑛脈を有する安質母尼等の製作場踵を接して起り、佛支貿易は最も有望の將來を控へつゝあれば、佛國の當業者は宜く支那新聞紙上の廣告或は活動寫真等有ゆる適當の方法を講じ以て中華民國に對し我が三色旗をして一段の光輝を放たしむるの用意なかる可らず (完)

◎銀貨の騰貴と其の基因

近時銀價は再び昂上し去四月二十五日の入電の如きは四十九片四分の一を報じ正に本年に入りての最高記録相場を示せるが今爲參考銀問題に關する「スチスト」誌の所説を摘記すれば左の如し

銀價の騰貴は歐洲戰亂勃發後に於ける他の貨物の價格の騰貴と何等異なる所無く生産額の減退と金屬に對する需要の増加に基くもの也、開戰前の十餘年間に於ける銀の世界的産額は一億六千五百萬「オンス」と二億二千六百萬「オンス」の間を往來し内千九百十一年の産額は最高にして二億二千六百萬「オンス」餘に達せり而して銀の大産出國中墨西哥は近來に至る迄世界全産額の三分の一を産出したるも同國に於ける革命以來其産額は八十萬「オンス」より三千萬「オンス」強に下りたるが墨西哥以外に於ける産額の増加は同國に於ける減額を補ふに足らず、蓋し墨西哥以外の大産出國は六千萬乃至七千萬「オンス」を産出する北米合衆國及加拿太、濠洲中央及南亞米利加等なるが濠洲及北米合衆國を除く外何れも其の産額を増加したる所無ければ也

翻つて需要の方面を見るに歐米諸國のみに就て云へば消費額の半額以上は貨幣鑄造用以外の美術品製造用に充てらるゝものゝ如くなるが、吾人の研究の結果は開戰後美術品製造に要せらるゝ額は著しき減少を示さざるのみならず、却つて増加せるもの

ゝ如し全歐洲を通じ上流社會に於ける饗應の流行が著しく衰退せる結果銀食器の需要激減したるも裝飾品の大需要起るに至りしたため銀需要の全體に何等増減する所なし、銀裝飾品の大需要を惹起せしは勞働者の有福なるに基くものにして、勞働者は英國を始め世界各地の賃銀が騰貴したるのみならず、戰前には無職なりし婦人兒童の大多數が職業に従事するに至り、戰前職業に従事し居たる者も戰後は戰前數箇年よりも多額の收入を得るに至れるを以て著しく所得の増加を來し居れり、加之貨幣鑄造用の需要惹起せり、開戰前に於ては英國にては貨幣を磅にて計算せるのみならず、磅貨は英國の取扱に馴れたる貨幣なりしに、開戰後金貨は流通市場を去り銀行家以外の者は殆ど目撃するを得ざるに至り、紙幣及銀の名目貨幣之が代用たるに至りたるが、物價が戰前に比し激變を來したるを以て政府紙幣及銀名目貨幣に對する需要は金貨幣の補充以上に増加するに至れり、戰前に於ては銀貨の鑄造額が二百萬磅に達することは稀有のことなりしも、開戰後銀貨の鑄造額は三四倍以上に達するに至り、英國のみならず總ての交戰國及協商國側に對し多額の物資を供給する國に於ても之と同一の現象を生ぜり、信すべき推算に依れば世界の銀産額の約半は東洋特に印度及支那に吸收さるゝことゝなり居れるを以て、東洋に於ける銀の需給狀態は注目を要すること勿論なるが、東洋に於ても物價は歐洲及南北亞米利加同様騰貴し居れば貨幣の額は物價が騰貴せざる場合よりも多額を要することを知る可らず、支那に於ては銀貨は本位貨にして、名目貨幣に非ず印度に於ても表面上は金が本位貨なるも、土人間に實際通用する貨幣は留比貨也、然るに戰争の結果世界の大多數の國は金の輸出を禁止したるを以て印度に於ては銀は戰前の任

(二)事業の性質危険又は衛生上有害の虞あるもの(百分比)

	工場數	職工數	工場數	職工數
職工五人未満	二、二一四	五、四七〇	三五	四
十人未満	一、四四一	九、七七三	二三	六
十五人未満	七五四	一〇、〇六七	一二	七
三十人未満	九九九	二二、二九三	一六	一四
五十人未満	三五九	一三、一〇九	六	九
百人未満	二四一	一六、六五〇	四	一一
五百人未満	二一〇	三九、七四五	三	二五
五百人以上	三二	三六、七六八	一	二四
合 計	六、二五〇	一五三、八七五	一〇〇	一〇〇

(三)輕易なる事業にして職工十五人以上を使用し原動機を用ゐるもの(百分比)

	工場數	職工數	工場數	職工數
職工十五人以上	二二七	四、九〇九	五八	三〇
三十人未満	九八	四、〇六九	二五	三五
五十人未満	四六	三、五七三	一二	二二
百人未満	一八	三、六〇七	五	二三
五百人未満	一	一	一	一
五百人以上	一	一	一	一
合 計	三八九	一六、一五七	一〇〇	一〇〇

即ち右に依るに大正五年十二月末現在工場法適用工場總數は一萬九千四十七職工總數百十二萬三千廿八人であるが其の中(一)十五人以上の職工を使用するもの(工場法第一條第一項に該當)工場數一萬四千二百四十九(工場總數の七割五分弱)職工數百七萬八千八百六十人(職工總數の九割六分強)、(二)事業の性質危険又は衛生上有害の虞あるもの(工場法第一條第二項に該當するものにして職工十五人未満使用工場)工場數四千四百九(工場總數の二割三分強)職工數二萬五千三百十人(職工總數の二分強)、(三)輕易なる事業にして職工十五人以上を使用し原動機を用ゐるもの(工場法施行令第一條但書に該當するもの)工場數三百八十九(工場總數の二分強)職工數一萬六千五百七十七人(職工總數の一分強)である

用ゐるもの(工場法施行令第一條但書に該當するもの)工場數三百八十九(工場總數の二分強)職工數一萬六千五百七十七人(職工總數の一分強)である

◎職工男女別 轉じて右諸工場職工の男女別を見るに次の如し

常時十五人以上 危険又は有害ノ 輕易ナル事業ナレト 使用工場 虞アル工場 原動機ヲ用ナルモノ

男	女	計
四六、九四四	四六、九四四	九三、八八八
一〇、〇五七	一〇、〇五七	二〇、一一四
五、五三三	五、五三三	一一、〇六六

即ち總計に於て女工は職工總數の五割五分強を占めてをる之れ云ふ迄もなく本邦の工場多數は實に紡績工場であるが故に外ならぬ併し乍ら危険又は有害の虞ある工場及び輕易なる事業なれども原動機を使用するが爲め工場法を適用せらるゝ工場の女の少なきは此等の工場の多數が金屬溶解又は精鍊工場或は酒造工場の如きものにして紡績工場を含まざるが爲めである

◎職工年齢別 次ぎに職工の年齢別を見るに流石に十二歳未満の者は少ないが十五歳未満の者は相當に多數ある

(一)職工十五人以上を使用する工場

男	女	計
二九、八五五	二九、八五五	五九、七一一
一〇、三七七	一〇、三七七	二一、七五四
一、三三〇	一、三三〇	二、六六〇

(二)事業の性質危険又は衛生上有害の虞ある工場

男	女	計
一〇、一五五	一〇、一五五	二〇、三一一
一〇、〇四四	一〇、〇四四	二〇、〇八八
四、三六九	四、三六九	八、七三八

(三)輕易なる事業なれど原動機を用ゐる工場

男	女	計
二、二一五	二、二一五	四、四三〇
一、五以上	一、五以上	三、〇〇〇
三、四二二	三、四二二	六、八四四

右の如く女工及十五歳未満の男工數甚だ多きか爲めに工場法適用上所謂保護職工(女工及び十五歳未満の者)の總數は六十六萬百九十二人にして之を全職工數百十二萬三百二十八人に對比する時は保護職工は五割八分強を占め内女工は實に五割五分強に當る

●幼者及病者の解雇 工場法施行前後に於ては工場主中職工の年齢及び義務教育終了の有無を調査し十歳未満又は學齡兒童を解雇し又十五歳未満の者を使用する時は種々の制限を受け煩に堪へずとして解雇した者もあり或は之を解雇せずして家事向又は給仕として使用した者或は將來十五歳未満の者又は學齡兒童を雇入れざる方針を立てたる者もある斯くて解雇せられた幼年工又は非適用工場に入りたる者自宅にて内職に就きたる者遊食するもの子守又は小使として他に向ひたる者或は解雇によりて小學校に通學するに至り著しく就學歩合を増加したる地方等もあつたが概して生計に困難を來たした

又病者の就業禁止に付ては大工場中紡績織物、生絲及印刷業等にては施行前後の健康診斷を行ひて病者を淘汰し施行後引續き之を勵行した者があつた其の被解雇者の實數は不明であるが大凡五六百名であるらしく疾病の種類は肺結核其他の呼吸器疾患者、重症トラホーム、脚氣、心臟病、梅毒等が多かつたらしい以上の外工場に依りては職工の身分證明を徴し前科者を淘汰した向もあつた斯くて工場法施行の結果解雇せられたる者は幼少年者病者等を通算し總計千名内外と認めらる

◎職工能率の増加 工場法の適用が産業上に及ぼす影響中最も

興味あるは生産率の問題である工場監督官が神奈川縣に於て調査せる結果の二三を掲ぐるに次の如し

(一)神奈川縣某絹織工場 神奈川縣下の某絹織物工場に於ける調査を見るに工場法施行前の從業時間は一十六時間、内休憩及食事時間は一時間四十分であつたが施行後は十四時間從業、内休憩時間は合計一時間五十分である今大正四年及五年中の四箇月(九月乃至十二月)に付て比較せんに左の如し

就業日數		總生產高		平均一日 生產高		平均一時間 生產高	
年	減	年	增	反	增	反	增
四年	一六	五八	五〇	〇・三五	〇・四五	〇・一〇	〇・一三
五年	二四	六六	五八	〇・四二	〇・四五	〇・一〇	〇・一三
增	減	二	七五	〇・七四	〇・一〇	〇・一〇	〇・一三

即ち就業時間の短縮せるに拘らず一日平均一割四分六厘の生産増加をなしてをる此の工場法實施前後として足踏織機二十五臺を以て座蒲團地の製造をなせるものである唯だ工場法實施前の賃金は年給であつたが實施後は出來高拂ひに改めた之も生産増加の一因である

(二)神奈川縣某綿織物工場 同縣の某綿織物工場は從來十六時間内外の就業を爲さしめたるも工場法施行の結果十四時間に短縮せし結果平均一割七分乃至二割の生産減少を來たりとの事であつたので其の眞否を確むる爲め工場監督官は縣下の某大工場に就て調査せるに次ぎの如くであつた

就業時間		一人平均		一人一日		一臺一日	
實施前二箇月	三三	受持臺數	出來高	間出來高	出來高	間出來高	出來高
實施後三箇月	三三	二六	八九	〇六	〇六	〇六	〇六
減	〇〇	増	〇九	増	〇三	減	〇三

即ち一人一日出來高も一人一時間出來高も共に大いに増してをる特に右表を見るに一人平均受持臺數は著しく増加してをるが

之れは當然一臺平均の生産率を減少すべきものなるに實際一臺
一時間出來高は少しも減してをらぬ之れは實に職工の能率を非
常な増進を語るもので若し受持臺數を工場法實施前と等しくす
るならば或は優に一臺一日出來高をも實施前と等しくすること
が出来るであらう

(三)神奈川縣某麻真田工場 尙工場法施行後屢生産減少を訴へ
たる某真田編製工場に付ての調査を見るに

作 業 時 間	生産高		一日一人 生産高		一人一時 間生産高	
	時間	反	時間	反	時間	反
十三本打	五年八月	二二〇	一四八七五〇	八〇五	二四	一七
	五年九月	二二〇	一四六七〇	七三	二四	一七
七本打	五年八月	二二〇	五〇六五	二七四	二〇三	二七
	五年九月	二二〇	四九六〇	二六二	二〇三	二七

之れ亦一日一人平均生産高は減じてをるが一人一時間平均生産
高は増してをる此の外愛知縣に於ては同様の調査が試みられて
をるが大體に於て相似てをる、要するに一日の就業時間が減じ
ただけに一日の生産高は多くの場合に減じてをるが、職工の能
率は大いに増し其の一時間の生産高は増加した

◎衛生設備 衛生設備は我が工場が多く小規模のものなるだけ
概して甚だしく不完全のやうである、中には寄宿舎には驚くべ
く不完全なものが多いらしい、長野縣下の製絲工場にての調査
(大正六年四月實査)せられたる處を見るに、縣下の模範的大工
場と云はるゝものにして、尙は一組の寢具に二人づゝを寢さす
るものが大部分である、即ち之れを數字を以て示すに、大工場
五十の内一人一床制を行へるものは僅かに四あるのみにて、四
十三工場は二人一床制、三工場は一部の寢室に限り一人一床で
あつた、又百十六工場に就て調査せる寢室一人當坪數を見るに

次ぎの如し

寢室一人當坪數	工場數	寢室一人當坪數	工場數
○三坪以下	四	○七坪以下	一二
○四坪以下	一六	○八坪以下	四
○五坪以下	五二	○九坪以下	三
○六坪以下	二五	計	一二六
最少一人當	○三坪	最大一人當	○八三坪

即ち一人一疊以下が半數以上で而かも其の甚だしきになると一
人當○二三坪即ち一疊に平均二人以上を寢させてをるものも
あるのである、而かも其の室たるや採光換氣不完全に寢具は垢
胎の爲めに濕潤し惡臭を放てるもの多しと云ふに至つては驚か
ざるを得ぬ

◎職工の食料 轉じて寄宿職工の食料を見るに之れ亦長野縣生
絲工場實査(大正六年四月)の結果に依るに左の如く一日一人平
均十一錢以下のもの大多數にて、五十五工場を平均し僅かに九
錢八厘弱にしかならぬ、工場法は更に斯くの如き點に迄干渉す
るにあらざれば完全な職工保護は行ひ得ぬであらう

一人一日平均	一〇〇人 以下工場	二〇〇人 以下工場	五〇〇人 以下工場	五〇一人 以上工場
六錢—七錢	—	—	—	—
八錢以下	—	三	—	—
九錢以下	—	—	一〇	—
十錢以下	—	二	五	—
十一錢以下	—	九	—	—
十二錢以下	—	二	—	—
十三錢以下	—	一	—	—
計	九	一八	二一	二
最高十三錢	最低六錢六厘	平均九錢八厘弱		

◎職工賃金 工場法適用工場に就き歐洲戰前と最近(六年四月)

とを比較するに平均一割三分の増加を示し工業不振の地方と雖も低落の傾向は認めない次表は其の職業別の平均である

	戦前	大正四年	大正五年	最近
染織工業	三四	三六	三九	四一
機械及器具工業	六二	六五	六九	七二
化學工業	四六	四九	五一	五三
飲食物工業	四二	四四	四五	四六
雜業	四四	四五	四八	五〇
特別工業	五一	五三	五五	五七
平均	四七	四九	五一	五三

貿易

◎青島貿易近況 (五月中)

當港貿易は昨今愈々閑散夏枯れ期に入り出貨思はしからず殊に奧地土匪の横行、支那時局の影響銀價の昂騰等は依然として不振の一因たり、本月中埠頭陸揚貨物總量は三萬〇八百八十八噸二にして、船積貨物は三萬五千百三十四噸五なり、之を前年同月に比するときは、陸揚に於て約一萬一千六十二噸を減じ、船積に於ても約三千八百十三噸を減せり、更に遡りて大正四年以來の同月陸揚船積を比較するときは

	陸揚噸數	船積噸數	計
大正四年五月	一〇、七七八・〇	二二、三六七・〇	三四、一四五・〇
大正五年五月	一五、二一五・〇	三四、六四七・〇	四九、八六二・〇
大正六年五月	四一、九五二・一	三八、九四八・〇	八〇、八九九・一
大正七年五月	三〇、八八八・二	三五、一三四・五	六六、〇二二・七

以上の如く前年同月に對しては何れも減退を示せり、而して本

月中の對各地貨物關係を摘記せんに

▲揚荷數量(汽船に由る)

大阪、神戸より	五、八五〇・六	芝罘より	六二・六
門司其他より	三、四九一・一	天津より	九〇九・八
臺灣より	〇・七	其他支那各港より	八九六・四
朝鮮より	八四五・九	香港より	一、七六二・七
大連より	五一三四・三	其他外國より	四、一九八・六
上海より	七、七三五・五	合 計	三〇、八八八・二

▲積荷數量(汽船に由る)

大阪、神戸へ	五、五七九・七	門司其他へ	一一、九五五・六
朝鮮へ	一、五六一・二	大連へ	三、〇九七・二
上海へ	一一、六九四・七	芝罘へ	一五五・八
天津へ	四七・二	其他支那港へ	九七・〇
香港へ	五八二・〇	マニラへ	三六四・一
其他外國へ	—	合 計	三五、三四・五

以上數量の大勢は各月共大體變化なく即ち日本内地、上海、大連を以て當港輸出入貿易の最大關係あるものとす、而して本月中日本内地との貨物は出入共に相均衡し上海に在ては出貨を大連に在ては入貨を超過せる觀あり

◎主要貿易品情勢 (五月中)

本月中輸出入貿易品を前月に對比するときは左の如し

品 種	本 月	前 月	前月比増減
品 米	八三二・〇	五八七・八	(増)
白 米	二、九〇八・六	一、七八二・〇	(増)
高 粱	五三五・六	一、六八四・九	(減)
白 砂	九五七・六	二、八〇九・一	(減)
赤 砂	—	—	—

海運及鐵道

◎船舶出入近況 (五月中)

本月中入港汽船總數は六十六隻にして、出港は六十四隻なり之を一月以降の累計に徴するときは、入港三百六十隻、出港三百六十四隻を算し、出入計登簿噸數は六十九萬〇四噸とす、而して國籍別は左の如し

▲入港汽船

仕出	日本船	英國船	米國船	露國船	支那船	計
日	一六					一六
大	一一					一一
上	一四					一五
芝						
天	一一	二				一三
其他ノ支那各港						一一
臺						
釜						
仁	四					四
香						
マ						
浦			三			三
其他ノ外國						一
計	五七	三	三	一	二	六六

▲出港汽船

仕向	日本船	英國船	米國船	露國船	支那船	計
日	一八					一八
大	一三					一三
上	一一					一一
海						
計	一一	三	三	一	二	六六

▲輸出品

品名	數量	單位
煙草	五二二・六	(減)
石油	四、一九八・七	(增)
燐寸	一、五二七・八	(減)
セメント	一、一八八・三	(增)
綿絲	四、一七二・三	(增)
綿布	六四四・〇	(增)
支那紙	五五六・九	(減)
竹材	九四七・四	(減)
木材	三、三六六・二	(減)
落花生	二、三〇八・七	(減)
牛肉	四二七・七	(減)
鹽	三、六一二・〇	(減)
落花生油	二、七三〇・八	(減)
豆油	三八二・五	(ナシ)
牛油	二、三九・九	(減)
淄川炭	一、二、三五三・〇	(增)
博山炭	四、〇四八・八	(減)
コークス	三、二九三・四	(減)
桐材	八五二・三	(減)

◎戎克貿易情況 (五月中)

當月中戎克貿易の情況を見るに、輸入に在ては豆粕一萬五千二百四十三擔、豆類三千三百三十四擔、高粱九千三百〇一擔、玉蜀黍三千八百五十三擔、雞卵三十五萬八千四百十個、鹽魚五千五百八十八擔、落花生六千七百四十擔、落花生油二千七百三十八擔、紙四千四百二十四擔等を重なるものとし、輸出に在ては石灰の千三百擔、落花生油の千五百五十一擔を主なるものとせり

六月中臨時船の出入大略左の如し

臨時船出入近況

船名	仕出地	貨物	仕向地	貨物
貴船丸	神戸	揚荷一、五〇〇噸	門司	コークス、牛骨
能登丸	門司	揚荷三〇〇噸	徳山	石炭
官陸號	天津	揚荷雜貨	上海	雜貨
直江津丸	神戸	揚荷五〇〇噸	宇品	コークス
神州丸	神戸	揚荷七三〇噸	大阪	コークス
第二有田丸	釜山	揚荷ナシ	釜山	鹽
丹後丸	長崎	揚荷三〇〇噸	釜山	鹽
福壽丸	熱田	揚荷ナシ	門司	鹽
官陸號	上海	揚荷六〇〇噸	天津	麥酒
爾靈山丸	大連	揚荷二〇〇噸	宇品	コークス
肇興號	香港	揚荷六〇〇噸	大連	雜貨
東晃丸	上海	揚荷一、六〇〇噸	上海	石炭、雜貨
直江津丸	神戸	揚荷五〇〇噸	宇品	コークス
官陸號	上海	揚荷四〇〇噸	天津	麥酒
生利號	大連	揚荷高粱六〇〇噸	大連	豆油

芝罘	天津	其他ノ支那各港	臺灣	釜山	仁川	香港	マニラ	浦鹽	其他ノ外國
一	九	二	二	一	二	一	一	一	五
一	一	一	一	一	一	一	一	一	六
一	一	一	一	一	一	一	一	一	四

各航路近況

各航路對當海運は何れも貿易の開散期に入れるため船復思はしからず、但し石炭、コークス、鹽等特種の搬出に就ては臨時社外船の出入あるも、定期各航の船復は何れも夏枯れ寂莫を告げつゝあり、對内地航路に在ては銅塊、ブリキ屑、桐材、牛油、牛皮及落花生油の積荷等にて景氣昂らず、對上海航路に在ては避暑外人の來航と貨物も相當の動きあり、對大連航路に在ては麥酒、雜貨及苦力等にて相當の景氣あり、入貨も亦高粱、撫順炭にて船腹好都合の觀あり

石臼所新寄港

大連汽船會社の青島海州間航路中日照縣下石臼所新寄港の件に就ては先般來當局に於て夫々斡旋中の處、支那官憲との一切交渉を了し、寄港方許可の指令に接したれば、六月二十三日出帆海州九より同地に寄港し當地海運界に一新路を開くこととなり同地附近は市況一帯に旺盛を呈し落花生油、牛皮、羊毛、牛骨落花生、豚毛等の出貨を以て名あり、現に落花生油の當地に輸

生玉丸	長崎	揚荷	ナシ	門司	コークス
潮州丸	上海	揚荷	七〇〇噸	徳山	石炭
直江津丸	神戸	揚荷	五〇〇噸	宇品	コークス
三池丸	徳山	揚荷	杭木四六四本	徳山	石炭
福祿壽丸	門司	揚荷	二〇〇噸	上海	石炭
クルク號	マニラ	揚荷	雜貨	マニラ	牛肉
順天號	芝罘	揚荷	一〇〇噸	上海	雜貨
三國丸	大阪	揚荷	雜貨	上海	石炭

出さるゝもの一箇年約八十五萬擔と稱せられ、其他採炭に可能なる苦力の滿洲出稼も頗る多數に上り、從來は貨物の大半は上海市場に民船搬出の勢力を奪はれつゝありたるも、海州丸の新寄港に據り今後は當地の關係一層密接を來たすものあるべしと期待さる

◎最近山鐵乘車人員

五月下旬の山鐵乘車人員は五萬三千七百二十人、六月上旬五萬一千四百四十五人、同月中旬四萬〇百四十六人、計十四萬五千三百一十一人なりと

◎山鐵現在貨車機關車數

山鐵現在の貨車は有蓋貨車三百六十七輛、無蓋貨車四輛、離側貨車百輛、石炭車六百三輛、骸炭車七十五輛、石灰車二十輛、家畜車一輛、鮮魚車三輛、油槽車十三輛、合計千百八十六輛にして機關車は計五十三輛あり、而して本年度中に於ける増加計畫中のものは石炭車三十噸積四十輛、機關車五輛なりと

◎山鐵倉庫業の開始

山鐵にては沿線主要驛に一般倉庫業を經營し貨物出入の利便を増進するの計畫成り、近く濟南驛にて實現さるべしとのことなるが、從來の埠頭倉庫とは何等の關係なく、沿線の分は特に別に職員を設け營業課長之を直轄する手筈なりと

◎市内三驛主要貨物發著數

六月中に於ける青島驛大港驛埠頭荷扱所の主要貨物發著數を示せば左の如し

品名	▲到著			計
	上旬	中旬	下旬	
花生油	四三三	三三〇	二四〇	八七三
豆油	一三八	六八	四三三	二四八
牛油	七七	六三七	八四〇	一五五
牛皮	二五六	五九	六三	三七
骨	九七〇	三八	四七〇	一五八
▲發送				
高粱	一〇三六七	八〇九	三二〇八〇	四二一五六
綿絲	五九四	五三八	三九八	一二四二〇
綿布	七六二	一七二	一三〇	三七九三
砂糖	四八九	五七九	二八五	一五二二
寸油	九三〇	二八九	一五二	一五二二
石	二六五	二八五	二五六	六〇六

金 融

◎六月中銀塊並爲替相場

●銀塊 是四十八片八分ノ七を持續し本月中變動せず之れ全く米國政府にて銀塊一「オンス」米價一弗にて買上るが爲にして今後此政策の持續する間は其變動甚だ少かるべし
●爲替相場 是日本向電信爲替相場百四十五圓二十五錢にて始り此相場を最低とし漸次開進の一方に傾き遂に最高百五十圓に

達し月末僅に二十五錢下落したり蓋し上海市場にて借款切換へに加ふるに輸出比較的多きを以て同市場金融圓滑ならず爲めに相場騰貴したるなり

●金● 是尙市場夏期閑散に入りたり輸出貿易皆無の有様なるも本年小麥は豐作なるべしとの豫想より農繁期にも拘らず綿絲綿布類は弗々賣行きなれば其代金仕拂の爲め上海向五日目拂手形を賣るもの多く九百四十六兩を唱へたるもの月末九百四十二兩に下落したり然れども市場一般頗る閑散なるを以て其他特に記すべきなし

主要貿易品商況

◎輸入品

▲米●

前月來強氣配を以て持續したる大阪玄米市場は本月上旬に於て五十錢方の値開きあり石二十六圓三十錢先物二十六圓十五錢の上向を示し中旬に至りては更に躍進し當月限後場二十六圓四十九錢先物二十六圓三十九錢を以て下旬に及べり但し先物は二十五圓九十五錢即ち四十四錢方の下押を見せ一進一退茲許容易に前途を測斷するに苦しむものゝ如く之に伴れて當市場も亦常に一波を送り一波を迎ふるの情勢に在り

▲木●材●

木材も亦日を追ふて昂上し北海道材の如き一段の強氣にて當分下押の見込なし鴨綠江材は出廻期に一箇月早く目下熾んに現物の搬出あるも市場價格は依然強氣の方なり當地に在ても稍や買

控の態なれば在荷減退市價上進を免れざるべし

▲砂●糖●

瓜哇糖の本年度收獲は先づ減收の見込なるに却て取引下押日に下落を報せり從て支那一般の糖況は不振を呈せり當地も其の情況に卷かれ大手筋思惑買に出づるもの少く買氣至て薄く只實需筋の小口買に出づるのみ同時に在荷潤澤相場益々下押の氣配を有せり

▲燐●寸●

各方面共商況不振を極め全支手合せ殆んど皆無、中旬に至り銀高見越しにより南支方面幾分の活況を呈したるも當高値出澁り依然不味に歸せり川口支那商等も全然買氣なき爲原料採算上は毫も不落の餘地なきも二三流所の製造側にして原料手持、持久困難のため原料回收の實意にて投値向も出でたれど一流所の製造家は注文一手一抔安値を現はさず當市場とは二圓五十錢方の逆鞘を示せり蓋し二三流製造家繰業の都合と支那市況不味のため内地相場一圓方下押にて終れり

▲石●油●

日本油に在ては愈よ不需要期に際せるため取引皆無、市況閑散の極に達し居れり外油も此の情勢を脱する能はず

▲綿●絲●

大阪三品相場は月初め三百圓臺に在りしが漸次三百七八圓となり二十一日頃三百三十圓に飛騰爾後益々昂進を辿り月末二十九日には遂に三百四十圓の高値を呼ぶに至れり蓋し戦局の樂觀に伴ふ米棉漸騰と大暴落後の反動に因由せり當市場は奧地匪賊の横行等にて實需筋不振裡に本月を終れり

△青島相場

16 扇

面

上旬 一四八・〇

中旬 一四五・〇

下旬 一四五・〇

16 紅 月 一四八・〇 一四四・〇 一四一・〇
20 日 烏 一五三・〇 一四七・〇 一五一・〇

▲綿布

南洋印度方面の需要増加及歐洲よりの輸入思はしからざるため日本品の安値輸出を呼び月初め九龍十圓八十錢、中旬に至り十圓七十二錢、下旬十一圓四十錢、太鼓天上旬六圓三十錢、中旬六圓二十五錢、下旬六圓八十錢見當にて本月を終れり當市場綿絲不振に伴れ大手合なく閑散の方なり

△青島相場

九 龍 上旬 五・二 五・一 五・二
太 鼓 二・九 二・九 三・〇

◎輸出品

▲牛 肉

夏季輸出向不振の實情を出現しマニラ行も前月に比すれば減退し従て屠殺數も稍や閑散を呈せり市中小賣向きは目下百匁上肉二十二錢、中十八錢位なり

▲豆 油

閑散期に入り殆んど見る可き取引なし

▲落花生及同油

前同様

▲石 炭

農繁期に際したるため苦力の出勤方痛く減殺され淄川、博山兩炭鑛共出炭著しく減少したり而して一方地許需要も多少減量のため炭繰の困難は以前程に感ぜられず日本炭の在荷は潤澤にして市況引立たざるも昨今復荷の鹽を目的とし帆船及補助機關附

帆船にて日本雜炭を積み來り安値賣り漸く多からんとするの觀あり

▲麥稈眞田

勉編、細物出廻旺盛を告げ紐育送三百函の輸出を見たる外邦商の手合せありたるものなく九、十の外國需要期には一活躍あるならんと豫想せらる、原草は天津取引盛なれど當地に於ての手合は見るべきものなし、其の他粗編物は日本不需要期なるため空しく編行の棧房内に堆積され荷動を見ず相場は米國引合歐洲引合にて外國商館の天津にて買附あり原草及勉編は益々強氣配品薄を示したれど披平編等は手合なきため相場下落の方なり

▲鹽

正月以來引續き降雨及濃霧のため一帶に減收の見込を附け市中鹽輸出筋の買煽りあり亦一方支那人に於ては之が賣契約を見合するなごにて價格益々奔騰し殆んど未前の高値を呼び來れり即ち銀四圓五十錢にても賣買なき模様なり更に亦船價も一層騰貴の方なれば本品の輸出難は勢ひ帆船にて朝鮮方面に輸出する者漸次多きを加へつゝあり

▲コークス

前月と大差なく依然優良品の舞臺に在り

▲桐 材

省内産優良材は殆んど伐り盡しの状態にて今や河南省東北部地方に喰ひ入り津浦線を経て青島に搬出されつゝあり市價一才銀十三錢見當なるも之を阪神地方に輸出するときは一才金二十七八錢見當に賣らねば引合はざる有様なるが目下阪神地方の本品滯貨甚しく相場下押の氣味にて當地斯業者は一體に秋季の活路を期しつゝあり

▲牛 皮

露國筋需要の斷絶せるため大阪市場價格低廉種類潤澤なるに拘はらず商談進捗せず之に伴れて當市場も亦殆んど取引行はれず從て支那商側に在ては資金の固定などにて多少困窮の觀あり

▲麥 酒

需要期に入りたると販路擴大により當市場漸次活況を呈するに至れり目下卸値朝日一箱十四圓五十錢、青島十五圓八十錢見當にて昨年二月頃より約五圓方の値上げなり

内外經濟要報

◎戰爭能率増進案

米國戰時產業局は戰爭能力増進の爲め米國及び聯合國の資源共同經營案を起算したり本案は大統領「ウィルソン」氏に提出せらる可し燃料局報告に曰く瓦斯及びエンジン製造業者に賣渡す石炭は八月一日之を制限して昨年の二割五分となさんとす非緊要産業工場に賣渡したる石炭中六千萬噸は戰時產業局に引渡し非緊要工場は戰時緊要工場と爲す筈なりと

◎戦後の鋼鐵政策

英國商務院分科委員會は戦後の英國通商保護に關し更に重要な報告をなせり鐵及び鋼鐵に關しては遠大なる建議を提出したるが其内容左の如し

鐵及鋼鐵製品の爲めには國家的輸出販賣及び市場組織を作ること、加奈陀の計畫に基き非投資規則を制定すること、英本國及び屬領の經濟政策を一致せしむること、輸入鐵及び鋼鐵並に其の製品全部に對し關稅を課することを建議す此外又英

國領土内に於ては外國人に對し特許を受けたる場合を除くの外鐵及び鋼鐵の貿易を許可せざること、英國貨物に對し不公平なる運賃を課する汽船會社に對しては自用石炭供給の便宜を與へざること等を建言せり加之政府の許可を得るに非ざれば外國人又は外國會社に對し英帝國內の鑛山採掘權を與へざらざることを建議したり

◎英國產業界良好

英國軍事内閣は産業の狀態良好なるに満足し居れりと傳へらる蓋し産業界は今回ほど好狀態に在るは無く國內に殆ど一回も紛議起らず勞働者は其職を勵みつゝあり

◎戦後の織物貿易

ヘリン、バーチエナフ氏を委員長とせる英國商務院の分科委員會は戦後に於ける織物貿易の形勢に關する詳細の報告を發表したり右報告中に建議して曰く重大なる羊毛の不足に鑑み政府は速かに濠洲、新西蘭及び南亞非利加の代表者を召集し右各地に於て產出する羊毛の有効なる管理及分配法に關する計畫を立てしめざる可からず尙ほ英帝國內に於ける棉花及び亞麻の生産を擴張し且つ在外各大使館附商務官派遣制度擴張の爲め特別の努力をなさざる可からず、其他戦後少くも一箇年は英帝國領土及び敵國間の織物及び織物原料の輸出入は特別の許可ある物の外之を禁止せざる可からず加之戦後或る期間内は獨逸及び埃匈國よりの輸入稅を課すること、米國が採用したるが如き排投資規則を設く可きこと並に英國領土内に特殊貿易制度を設くることを建議せり

農商務省の調査に依れば五月中の新設會社數は株式、合資、合名各社總計七百三十社にして此拂込資本金三千八百七十三萬百二十五圓に上り前月と比較するに社數四百十七資本金一千四百二十三萬五圓を増し又一月以降の累計は社數二千二十八資本金一億六千八百八十三萬二千五百二十九圓にして之を前年同期に比すれば社數百四十六を減したるも資本金は一千四百四十一萬七千九百五十圓を増加したり尙其各業種別明細を示せば左の如し

◎新設各工業會社

業

雜
工
柴

◎日華紡績社創立

◎燐寸の對米積出

◎米對支企業投資

對支企業投資の目的を以て最近紐育に於て亞細亞銀行組合なるもの組織せられたり其の目的とする所は極東に對して米國通商の發達を期せんとするにあり資本金は米貨二百萬弗の商業銀行

なるが本店を紐育に支店を桑港、上海に設置し將來支店設置豫
定地としては北京、漢口、天津、哈爾濱、浦鹽等に内定し居れ
り尙聞く所に據れば從來東洋方面に於て活動しつゝありしアメ
リカン、インターナショナル、コーポレーションとは全然無關
係なりと云ふ米國は從來袁世凱帝制主張時代又は雲南革命當時
は金融事情はヨリ以上に良好なりしも對支投資の危險を慮りて
決行せざりしが近頃南方に革命難あるに拘らず太平洋沿岸各地
の商業銀行團が斯かる組合を組織して對支投資を爲さんとする
に至れる一般的風潮は注目すべきことなり組合の中心たるもの
左の如しと

▲紐育ギヤラツキ、トラスト、コンパニー ▲沙市及び華盛頓ナショナル、バン
ク ▲マーカンチル、バンク、オブ、アメリカンスアングル ▲ロンドン、エンドバデ
ス、ナショナル、バンク、オブ、サンフランシスコ ▲ナショナル、バンク、オブ、ボ
ートランド

◎内地落花生不況

落花生は昨年其生産地たる千葉方面の植付け反別一昨年に比し
減少したる外折柄旱魃に次いで暴風雨ありしたため其總產額は前
年に比し約六割減なりしに一方米國は當時最も潑刺たる買氣を
示し連續的に新規注文を寄せたるを以て其の出廻り當初の剝實
一オンス三十粒入百斤十圓より頻りに躍進して四月中旬には同
二十二三圓なる最高値を現出したるが同月中旬に及び米國の輸入
禁止に遭遇したるため人氣頗る險惡に陥りたり併し此の時在荷
は既に殆んど片附けられたる後のことゝて現實相場には格別の
消長を齎さず持合商狀を以て推移しつゝあり然れども又昨今弗
弗行はれつゝある先約定物の相場を見る時は其市價軟弱の趨勢
を窺知するに足るものあり即ち米國の輸入禁止に對する警戒に
て各産地の縣當局は何れも其の植付けを減少し玉黍蜀其他の農

産物の代作を勸奨したる爲め其產額も昨年の約二割方の減收な
るべしと一般に觀測せられつゝあるに拘はらず既に米國の事態
にして右の如く又佛國方面も船腹不足にて大なる期待を囑する
能はざる爲め現在新物約定は百斤十五圓弱みを以て成約せられ
正に七八圓方の暴落を示しつゝあり斯くて目先亦青島、濟南等
の新物出廻り旺盛期の切迫と相俟つてます不味軟弱の商
勢を呈すべき恐れあるため目下各縣の落花生同業組合にては寄
々米國解禁運動の協議中なりと云ふ

◎支那の銑鐵條令

東京商業會議所時局調査委員たる藤山會頭杉原、山科兩副會頭
其他議員側の委員及び學者側よりは伊藤欽亮、堀江歸一、松本
丞治、松岡均平、鹽澤昌貞諸氏三日午後三時半より東京商業會
議所内に會合して支那銑鐵條令及び内地棉花供給策に關し研究
する所あり鐵鐵條令に就ては日本人の投資を阻止するが如き事
情あるを以て之れを改廢するの必要を認めたるが其手段は支那
の商業會議所及び有力者に對して該規定の決して支那の爲めに
も眞實の利益に非ざるを説きて其反省を促すことに努むるに決
し又棉花の供給策に關しては先づ其需給の狀態を見るに需要の
方面は大正五年に於て約七億二千萬斤に上り逐年増加の傾向あ
りて恐らくは十年を出でずして十億斤に達す可き形勢なるに對
し供給は朝鮮、臺灣を合して大正五年に僅かに約千五百萬斤を
自給せるのみ他は悉く米國、印度及び支那より輸入せられたり
去れば工學原料確保の見地より朝鮮に棉花の栽培を奨勵し而し
て尙は足らざるは支那に於ける同業の發達に俟つことゝし兩國
の親善なる關係を維持し以て棉花供給を確保す可しとの説有力

なりしが問題は當業者の意見をも一應聴取するの必要なるを以て當日は宿題として残すこと、せり因に棉花に關しては農商務省より木戸事務官、岡田技師兩氏出席したりと

●●●米國禁入の影響●●●

米國戰時通商取締局は六月十六、十七日附を以て輸入制限品の追加並に解除したるが該發表の主旨は第一、第二回制限品に對して整理したるものにして第三回制限品と見るべからざるものなり今回新に輸入制限品に加へられたるもの、品目中特に日本に影響あるものは獸皮革類等にして之は曩に露國方面に輸出したるものなるが革命以來最近に於ては米國に向つて盛んに輸出せられ約二百萬圓位に達し追つて千萬圓位迄上らんとする見込みなりしを以て其の蒙るべき影響は決して尠からざるべし木綿は蒲團材料なる綿代用品にして之は主として南米方面より輸入したるものなれば日本には影響なしと

●●●革類禁入の打撃●●●

今回米國より輸入制限を蒙りたる皮革類につき農商務省の調査に依れば大正五六年度輸出總額中對米輸出額は左の如くなりと

品名	年別	輸出總額	對米輸出額
生皮	五六年	四六、五五三	二四、八六八
革	五六年	一、六七一、八五四	五、九二五
革製品	五六年	三、八九〇、六六〇	四四六、一六六
革製品	五六年	六、三三六、三五六	不
革製品	五六年	六、七四〇、六七五	二二、五五八

(備考)革製品中に包含せらるるものは靴類其他なり

右の如くにして革の對米輸出の如きは五年度との比較に見るも

莫大なる増加なるに當り今回の禁入は當業者に取つて打撃尠少なからざるべしと

青島雜錄 (六月)

●●●製造品輸出便法●●● 當地各種製造業者にして原料を外國より輸入し其の製品を輸出する場合は普通戻稅の手續を執り居れるが之より更に有利なるは上海に於ける工業家の如く製品を内國品即ち支那品として輸出取扱を受くるに在りとなし内外綿會社、青島燐寸會社等は既に我が外交當局に通じて支那外交部に交渉中なれば實現の曉は此の方法に出るもの多かるべしと

●●●侍從武官の著青●●● 渡邊侍從武官は本月二日入港の西京丸にて安著本郷軍司令官及多數文武官の出迎を受けグランドホテルに入り三日より四日に亘り夫々御慰問の聖旨を傳達し六日山鐵沿線に發程せられたり

●●●青島燐寸賣出期●●● 豫て工事中の青島燐寸會社は既に此程竣工早速製品を賣出す手筈となりたるが當分職工不練のため一日十四五噸の製品あるべく追て「大吉」「三陽」の販賣と共に漸次増加を試みる筈なりと

●●●市中製氷の賣行●●● 夏熱増大と共に需要頓に旺盛となれる市中製氷の狀況は目下麥酒會社、屠獸場、大連製氷青島支店等に於て日々供給しつゝあるが昨年の一、二需要高千四百貫なりしに比し本年は既に二千二百貫の需要を呼び居れり而して最も大口なるは漁船、魚市場、料理店等にして市價は昨年の半値なる漁船卸値は百斤六分五厘市中一般の賣値は八錢なりと

●●●電話賣買の相場●●● 電話賣買の情況は最近著しく變動し最初銀

二百圓位なりしが電話需要の増大に伴ひ漸次昂騰して銀三百圓を呼び居りしが最近に至り銀四百五十圓位を唱ふるに至れり之れ全く新設加入八十口の完了と共に他は當分増架の見込みなきものとして斯かる急激なる昂騰を示するに至りたるもの、如く之が爲め一般に不使少からず當局に於ても夫々増加擴張計畫中なれば所詮此の暴價は永續さるべきものにあらざるべしと

●煉瓦●需要の旺盛 最近建築界の賑合ひと共に煉瓦製造の多忙を來たし臺東鎮附近に於ける日本人の經營に成る分六箇所は益々製作に忙殺され職工の如き之を従前に比すれば約三倍に増員せりと

●三井の移轉披露 三井物産當地出張所は豫て所澤町に新築中の所先般工事竣工し移轉したるを以て本月四日市民會後庭に於て盛大なる披露宴を舉行せり當日は本郷軍司令官、秋山民政長官を始め文武官及重なる市民合せて四百餘名の招待あり綠蔭夏日を遮り涼風を容れて餘興の數々を觀覽せしめ次に園遊會開宴の順序にて充分の歡を盡し午後六時散會せり

●工場指定地擴張 近時各種製造工業の振興により臺東鎮工場指定を擴張さるゝの議は漸次進行し當局要路の現地視察あり早晩區域其他の決定を見るに至る可しと云ふ

●山東豚毛と英商 山東產豚毛は優等種類に屬し歐米に於ける聲價頗る高く獨逸時代より之が輸出は最も盛に行はれたるものなるが日本商人は品質鑑別に乏しく且つ買付け又は賣捌き聯絡等思はしからざるため未だ之に従事するものなく目下當市場に在ては専ら英商ジャードン、マデソン支店の獨占に歸し輸出され一箱八十二斤入九十五兩見當の市價を以て月三百箱以上の數量は容易に買付け得べしと稱せらる

●坊子炭坑出炭量 吉木、山田兩氏合同事業の坊子手掘式石炭坑は第一、第二の兩堅坑より排水排氣を行ひ第三、四の兩堅坑より採炭搬出を行ひ居れり坑内は淄川炭坑と異り瓦斯の發生甚しく危険なる場合多ければ採掘上火藥使用の度數少く從て急速の採掘進捗は行はれ難きも目下現業員日本人十八名支那人三百名を以て一日百八十噸の出炭を見つゝあり而して塊炭は一割内外にして炭質は優良種に屬し八月以後は日々三百噸の出炭を見る豫定なりと

●議員視察團來青 衆議院副議長濱田國松氏を團長とせる議員視察團一行十一名は豫定の如く十一日午後七時鐵路來青グラントホテルに投宿各方面の視察を了し十三日大連に向け發程せり

●山東の羊毛取引 山東の羊毛に就ては近來我が日本商人の買付を爲す者漸く多きを加へ來りたるが從來山東產の羊毛は他省產に比して混合物多く爲に品質劣等視されあり之が鑑別には特別の注意を要し現に當市場に出廻はるものは四割以上の混合物を豫想さるゝ有様にて之が集散市場は周村を以て最も盛んなりとなされつゝあり

●愛媛縣教育團著 愛媛縣教育支那視察團一行は十六日來青亦第二班たる滿鮮視察團一行も十七日來青、當地に於て合し十九日西京丸にて歸航せり

●鉄力屑輸出近況 鉄力の需要高と共に當地に於ける鉄力屑は漸次氣勢を上げ自下百斤二圓二十錢見當にて買ひ集められつゝあるが之を阪神地方に輸出する爲め毎船三十噸乃至五十噸の積荷ありと

●小學校長團來青 大阪小學校長團一行は十九日滿鮮視察を了へて來青各方面の視察をなし二十日出發せり

●甲組議員視察團 衆議員甲組視察團一行は澤來太郎氏を團長とし十九日來青安東旅館に投じ各方面の視察を遂げ三十日大連に向け發程せり

●淄川炭の出炭高 大正六年度に於ける淄川炭の出炭總高は四十五萬八千噸にして其の販賣高は省内地賣炭二十一萬三千噸、德山煉炭所其他内地向輸出五萬七千噸、三井、鈴木兩店にて上海、香港兩地へ輸出せられたるもの七萬二千噸にして此の合計十二萬九千噸青島港に於ける船舶用燃料炭一萬噸、總計三十五萬二千噸を算し外に鐵道部其他官衙各部の配給炭十四萬噸に達し居れば結局出炭に對する消費量は三萬四千噸の超過となる譯なるが此の超過は勿論前年度の繰越炭を以て充當せるものなりと而して前記地賣炭二十一萬三千噸の内青島に販賣せられたるものは工場炭を加へて二萬七千餘噸なり之に博山炭、撫順炭、日本炭の販賣を合して其の販賣總數は五萬五千噸見當なりと報せらる

●山東今年の農作 今年の山東省内地農作は氣候順適降雨適度のため一般農家は稀に見る豐年と目されつゝあり現に春季の麥作は目下收穫に忙しく亦秋季の粟、大豆、棉花、落花生等も著しく好況を齎らすものゝ如く農民の歡喜察するに餘りあり唯此の機に乗して例の匪賊の出沒は最も彼等の憂ふる所なるが之さへなくば本省内は一般の景氣を添へ商取引上頗る見る可きものある可しと云ふ

●山東苦力の値上 農作の關係により本年山東苦力の滿洲方面に出稼するもの例年に比し激減し該地に於ける勞力供給上支障少からざるものゝ如く從て勞銀も例年二十錢乃至三十錢位ひもの目下五六十錢若は夫れ以上を呼びつゝありと

●三菱出張所開設 三菱にては今回當地に出張所を置くことに決定既に市内所澤町原山汽船内の一室を借受け假事務所を置き二名の出張員調査に従事しつゝあり而して今後一般貿易業に従事す可しと云ふ

●兩料金取扱便法 電燈及水道兩料金の收納は從來各其の事務所に於て取扱ひつゝあるも斯ては遠距離居住者の不便少からざるを以て之等を各郵便局にて取扱はしむるの内議は其後大に進捗し近々實施さる可しと云ふ

●人事往來

- △幡生彈次郎氏 二日上海より來青五日陸路上海へ
- △有松長官一行 四日一列車にて濟南に向ふ
- △本間英史氏發 四日西京丸にて出發
- △デンメルマン 氏五日夜行にて濟南に向ふ
- △大倉喜七郎氏 六日臺北丸にて來青十八日出發
- △柴田第二校長 十四日薩摩丸にて辭任歸國
- △平塚半次郎氏 十日大連より來青十五日出發
- △茂木惣兵衛氏 十一日鐵路濟南より來青十三日大連へ
- △加藤恒忠氏發 十九日發西京丸にて歸東
- △ハアン氏新任 グランドホテルに新支配人として著任
- △葉春墀氏來青 二十七日來青鄉里日照縣へ歸省
- △今井經理部長 二十九日薩摩丸にて歸東
- △深見中佐歸任 二十六日歸任
- △潮崎喜八郎氏 十九日來青二十日大連に歸航

濟南雜錄 (六月)

●吉田領事の赴青 ●吉田濟南領事は去月三十日青島に赴き六月五日歸濟せり

●濟南現在日本人 ●現在日本人は約二千五百人にして之を三月頃に比較せば五百人の減退を示せり蓋し商況の不振及曩日ベスト發生等に因由するものにして今後尙は多少の減少を來たすものゝ如し

●泰安の土匪猖獗 ●泰安一帶に涉り土匪今猶は猖獗にして被害者少からず目下督軍派遣の軍兵にて鎮定に従事せしめつゝあるも效果容易ならずと云ふ

●新貨購入の著手 ●濟南に於ては最近銅貨の缺乏甚しく商取引上不便少からずとなし中國銀行其他に在ては行員を天津方面に派し新銅貨購入に着手し夫々著濟しつゝありと

●濟豐麵粉の近況 ●南京有力支那商人の計畫に成る濟豐麵粉會社は資金六十萬圓を以て成立機械及米人技師既に到著本月十一日開業一日の製粕高三百石を下らずと

●高田大佐の歸任 ●渡邊侍從武官に隨ひ天津、北京方面出張中の濟南駐在武官高田大佐は十六日歸任せり

●東文學校修業式 ●豐田孤寒氏の經營に成る東文學校は城内に在りて從來支那人間に重用されつゝある教育機關なるが本月十七日山鐵從事員第二期日語速成科修業員二十六名の證書授與式を舉げ在濟日支官民の出席者あり盛會を呈したりと

●南方派軍人警戒 ●近來南方の軍兵北軍人を裝ひ來省し密偵をなすものありとなし津浦線鐵路警戒中隊長は各沿線の部隊に訓

令し爾今陸軍部の特別護照なき者は直に逮捕訊問することゝし
たりと傳へらる

●蕪十山植樹計畫 ●濟南模範森林局に於ては今回南郊外蕪子山の一部地帯に各樹木植樹の計畫を立て既に技師二名工夫五十餘名を派遣したりと

●山東鹽運使顧問 ●既に濟南府に著任したる山東鹽運使署顧問小泉槌之亟氏は今回芝罘に新設さるゝ鹽務稽查所長に任命不日同地に赴任す可しと

●山東省參議改選 ●山東省參議員の改選は二十日城内法政學校に於て執行開票の結果張肇銓、莊陔蘭、王錫蕃、李元亮、張玉庚の五氏當選せりと云ふ

●高粱取引の旺盛 ●大連より輸入の高粱二萬六千餘石に就き商埠地糧秣商に於て取引開始日々旺盛なりと

●新炭礦發見さる ●黃孫東南境界鑽元村の住民に由て同地帯に長さ十清里幅二清里の炭礦發見され専門家の實地調査によれば炭質良好なるため之が開掘方を軍署に具申せりと報ずるものあり

●實業の發達擴張 ●農商部の通令により山東公署に於ては各商務の整頓實業の擴張策を講ずるため各縣知事に之が調査方を移牒すると同時に其の發達方法に就て講せしむる所ありと云ふ

●牛油牛皮の商況 ●濟南市場に於ける牛油は目下在荷薄のため相場昂騰の方なり牛皮は在荷夥多と取引閑散の爲め思しき景氣立たざる觀あり

●豆粕製造公司成 ●省内各豆粕の需要地近來増大の傾向あり濟南有力支那商間合資組織にて一大豆粕製造公司を商埠地に設置の議熟し目下其の工場の建築に著手せりと

沿線雜錄 (六月)

◎坊子の家族大會 五月二十八日坊子在留日本人家族大會を開き未前の盛況を呈して深更退散せり

◎張店奥曹達原料 張店奥北方六里なる蒲臺范縣に在ては曹達原料としての硝石盛んに出礦之が採取に就き日本人の關係するもの少からずと云ふ

◎濰縣聯合運動會 五月二十九日在濰縣在郷軍人會、日本人會體育會の主催に係る聯合運動會を開催す各種競技を重ね盛會を告げたり

◎繭出荷と相場立 金嶺鎮及鐵山附近に於ては本月初旬より繭の出初めを見たるが相場は上等二百目一斤銅貨六十文なりと

◎章邱炭と出炭量 丁敬臣氏の經營に係はる天源煤鑛公司是山鐵棗園莊驛を距る二十五支里なる章邱縣埠村に石炭鑛を得目下日々百五十噸の出炭を見つゝあるが今後約三百噸の出炭は容易にして之が搬出に就ては棗園莊驛より鐵路各方面に發送さるゝものなりと

◎坊子大神宮落成 三月以來三千圓の經費を投して建設中なり

し坊子大神宮は愈よ六月十一日竣工落成せり

◎坊子小學校落成 豫て新築中の坊子小學校は六月十日校舍落成せり

◎張店の夏熱加る 張店に於ける夏熱室内方に九十五度愈よ盛夏に入りたるものゝ如し

◎張店の中國人會 日支人相互の親睦を計るため新に張店中國人會の發生あり日本人會と共に日支親善上少からず効果を擧げ

つゝありと

◎博山窯業の製品 先般來好評ある博山窯業工廠の製品は其後益々需要高を増大したるため今回工場事務所等を擴張し更に滿鐵中央試驗所窯業科主任たりし小山恭太郎氏を招聘せり

◎博山在留日本人 最近憲兵隊の調査に據る在留日本人は男女合計三百五十名を示せるが此の外未屆者を合するときは約四百名を越ゆる見込みにして今後猶ほ多少の増加ある可しと

◎張店と曹達工場 張店奥の硝石は頗る有望なるものと目され中村組に於ては土井氏をして曹達用の試験をなさしめ成績如何に依りては該地に擔當工場を新設するに至る可しと云ふ

◎濰縣賣炭課移轉 鐵道部販賣課濰縣出張所は坊子炭の販賣開始と共に坊子舊獨逸炭礦内に移轉することゝなり南出所長既に坊子に著任せり

法規

◎青島守備軍公證規則(軍令第三十五號)

(大正六年十二月廿二日)

第一條 民事ニ關スル公正證書ノ作成ハ當事者ノ申請ニ依リ青島守備軍法院審判官之ヲ取扱フ私書證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ申請スル場合亦同シ

第二條 本規則ニ依リ作製シタル公正證書ハ完全ノ證據ニシテ且民事訴訟法第五百五十九條第五號但書ノ作成要件ヲ具備シタルモノハ同號債務名義ト同一ノ規定ニ從ヒ強制執行ヲ爲スコトヲ得但シ證書偽造ノ申告アリタルトキハ其ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

確定日附ヲ附シタル私署證書ハ第三者ニ對シ其ノ作成ノ日ニ付完全ナル證據力ヲ有ス

第三條 公證官吏ノ作成證書ニ關シテハ公證人法第四章證書ノ作成ニ關スル規定ニ準據ス確定日附ヲ附スルコトニ關シテハ民法施行法ニ準據ス

第四條 公正證書ニ付關係人自署スルコト能ハサルトキハ公證官吏之ヲ代署シ其ノ事由ヲ附記スヘシ

第五條 公正證書ノ原本及其ノ附屬書類ハ青島守備軍法院ニ保管シ青島守備軍法院長ノ指示シタル場合ヲ除クノ外之ヲ他ニ持出シ若ハ關係外ノ者ニ示シ又ハ其ノ謄本ヲ付與スルコトヲ得ス

第六條 當事者ハ公正證書ノ支那語譯文ノ下付ヲ申請スルコトヲ得

第七條 第二條ニ依リ強制執行ヲ爲ス場合ニ於テハ債務者ノ一般承繼人ニ對スルトキノ外公正證書ノ謄本ヲ送達スルコトヲ要セス

第八條 公證官吏ノ作成スヘキ證書其ノ他ノ書面ノ用紙ハ青島守備軍法院ト印刷シタル強靱ナル美濃野紙トス

公正證書ノ紙數ハ一行二十字詰二十四行ヲ以テ一枚トス但シ一枚ニ滿タサルトキハ之ヲ一枚トス

第九條 公正證書ノ作成ヲ申請スル者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納ムヘシ

百	圓迄	一	圓
二百五十圓迄		一圓五十錢	
五百圓迄		二圓	
千圓迄		三圓	

三千圓迄 四千圓 五千圓ヲ超過スルトキハ五千圓ニ達スル迄毎ニ一圓ヲ加フ

公正證書ノ支那語譯文ノ下付ヲ申請スル者ハ一行二十字詰半枚十二行ニ付一圓ノ手数料ヲ納ムヘシ但シ半枚ニ滿タサルトキ亦同シ

第十條 左ニ掲クル事項ニ付證書ノ作成ヲ申請スル者ハ前條ノ區別ニ從ヒ其ノ十分ノ五ノ割合ヲ以テ手数料ヲ納ムヘシ

一 承認、許可又ハ同意

二 當事者雙方ノ履行セサル契約解除

三 遺言ノ全部又ハ一部ノ取消

四 本規則ニ依リ證書ニ作成セラレタル法律行為ノ補充又ハ更正

第十一條 法律行為ニ付テノ證書作成手数料ハ證書紙數四枚ヲ超過スルトキハ超過シタル部分ニ付一枚毎ニ五十錢ヲ加フ

第十二條 法律行為ニ非サル事實ニ付テノ證書作成手数料ハ證書一枚ニ付五十錢トス

第十三條 秘密證書ニ依ル遺言書ノ方式ニ關スル記載ヲ爲ス場合又ハ委任狀受取書若ハ拒絕證書ヲ作成スル場合ノ手数料ハ證書一枚ニ付五十錢トス

第十四條 法律行為ト共ニ之ト牽連スル事實ニ付證書ヲ作成スカ法律行為ノミニ付テノ證書作成手数料ノ額ヨリ少キトキハ其ノ多キ額ニ依ル

第十五條 數箇ノ牽連セサル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ依テハ手数料ノ額ハ各事實ニ付之ヲ算定ス

第十六條 證書ノ交付又ハ證書ノ閱覽ヲ申請スル者ハ左ノ區別

ニ從ヒ手数料ヲ納ムヘシ

一 正本、謄本、抄本又ハ附屬書類ノ交付

一枚ニ付 五十 錢

二 原本又ハ附屬書類ノ閱覽

一回ニ付 二十 錢

第十七條 私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ申請スル者ハ毎

一件ニ付三十錢ノ手数料ヲ納ムヘシ

附 則

本令ハ大正七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

◎「モルヒネ」「コカイン」取締規則

(軍軍令第十號大正七年四月二十一日)

第一條 本令ニ於テ「モルヒネ」「ト稱スルハ」「モルヒネ」及其ノ鹽類ヲ、「コカイン」「ト稱スルハ」「コカイン」及其ノ鹽類ヲ謂フ

第二條 何人ト雖正當ノ事由ナクシテ「モルヒネ」「コカイン」ヲ

所有又ハ所持スルコトヲ得ス

第三條 藥劑師又ハ製藥者ニシテ「モルヒネ」「コカイン」ヲ製造

セムトスルトキハ其ノ品目及數量ヲ具シ民政署ヲ經テ軍司令

官ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第四條 藥劑師、藥種商ニ非サレハ「モルヒネ」「コカイン」ヲ輸

入スルコトヲ得ス

第五條 「モルヒネ」「コカイン」ヲ輸入セムトスル者ハ其ノ品目

數量、使用ノ目的、製造人、出荷地、出荷人、輸送ノ方法、

經由地ヲ具シ民政署長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第六條 「モルヒネ」「コカイン」ハ業務上必要ト認メタル者ヨリ

其ノ品目、數量、使用ノ目的、年月日、住所、職業、氏名ヲ

記シ捺印シタル買受書ヲ徴スルニ非サレハ之ヲ販賣、授與スルコトヲ得ス但シ醫師、齒科醫、獸醫ニシテ其ノ診療依頼者ニ對シ又ハ藥劑師ニシテ醫師、齒科醫、獸醫ノ處方箋ニ依リ其ノ記名者ニ對シ「モルヒネ」「コカイン」ヲ調劑スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ買受書又ハ處方箋ハ十年間之ヲ保存スヘシ

第七條 「モルヒネ」「コカイン」ノ製造、購入、販賣又ハ輸出ヲ營業トスル者ハ一定ノ帳簿ヲ設ケ其ノ授受ヲ明瞭ニ記載スヘシ官ニ於テ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ前項ノ帳簿及現品ヲ検査スルコトヲ得

第八條 民政署長ハ「モルヒネ」「コカイン」ノ授受ニ關スル帳簿ノ樣式其ノ他ニ關シ取締上必要ト認ムル事項ヲ營業者ニ命スルコトヲ得

第九條 第二條乃至第七條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ第七條第

二項ノ検査ヲ拒ミ若ハ第八條ノ命令ニ違反シタル者ハ千圓以

下ノ罰金ニ處ス

第十條 第二條、乃至第六條ノ規定ニ違反シ所有又ハ所持スル

「モルヒネ」「コカイン」ハ行政處分ヲ以テ之ヲ沒收ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際販賣、授與又ハ輸出ノ目的ヲ以テ現ニ「モルヒネ」

「コカイン」ヲ所有又ハ所持スル者ハ本令施行ノ日ヨリ十日以内

ニ其ノ品目及數量ヲ民政署長ニ届出ツヘシ

◎原動機取締規則

(軍軍令第二十二號
大正七年六月二十七日)

第一條 本令ニ於テ原動機ト稱スルハ蒸氣、油、瓦斯又ハ空氣

ヲ使用スル汽罐又ハ機關ヲ謂フ

第二條 原動機ヲ新設セムトスル者ハ左記各號ノ事項ヲ具シ軍司令官ニ願出テ検査證ノ交付ヲ受クヘシ其ノ増設又ハ變更ヲ爲サムトスルトキ亦同シ

一 設置ノ場所及其ノ四隣ノ略圖

二 建物及煙突ノ構造仕様書並其ノ圖面

三 使用ノ目的

四 原動機取扱主任ノ氏名及履歷書

五 使用者ノ原籍、現住所、氏名及年齡

第三條 汽罐ノ新設増設又ハ變更ニ在リテハ前條ノ外左記各號ノ事項ヲ願書ニ具備スヘシ

一 コルニツシ型、ランカツシーヤ型、直立型、水管式等汽罐ノ種類及箇數

二 汽罐ノ構造及寸法ヲ記載シタル圖面

三 爐格ノ面積

四 槓杆式又ハ發條式等安全瓣ノ種類其ノ寸法及箇數

五 每平方吋ニ付常用汽壓

六 汽罐製造所、製造年月日及汽罐ノ履歷

第四條 汽機、瓦斯又ハ石油機關ニ在リテハ第二條ノ外左記各號ノ事項ヲ願書ニ具備スヘシ

一 汽機又ハ機關ノ種類及箇數

二 汽笛ノ直徑及衝程ノ寸法

三 回轉數

四 實馬力

五 瓦斯機關ニ在リテハ瓦斯ノ種類

第五條 原動機ハ据付又ハ使用前ニ於テ之ヲ検査シ適當ト認ム

ルトキハ別記様式ノ検査證ヲ交付ス
原動機使用者ハ検査證ヲ受クルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

検査證ハ原動機室内ノ賭易キ場所ニ之ヲ揭示スヘシ

第六條 原動機ノ検査ハ定期及臨時ニ之ヲ行フ、定期検査ハ原動機新設ノ出願アリタルトキ又ハ使用期間滿了ノトキ之ヲ行

ヒ臨時検査ハ特ニ検査ヲ爲スノ必要アリト認メタルトキ之ヲ行フ

原動機使用者ハ其ノ使用期間内ト雖定期検査ヲ請求スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ使用期間ハ該検査ノトキヲ以テ滿了シタルモノト見做ス

前項ノ臨時検査ニ合格セサルトキハ検査證ハ期間内ト雖其ノ效力ヲ失フ

第七條 暖房用汽罐ニシテ汽壓每平方吋ニ付五封度以下ノモノハ前二條ノ規定ヲ適用セス

第八條 原動機ハ検査證記載ノ使用期間又ハ常用汽壓ヲ超エテ使用スルコトヲ得ス

第九條 原動機ノ使用期間ハ原動機ノ検査ノ結果ニ依リ一箇年以内ニ於テ之ヲ定ム

第十條 原動機ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ汽罐ニ在リテハ罐水ヲ排出シ人孔、泥孔ヲ開放シ爐格及火橋ヲ取外シ汽罐ノ内外及煙道ヲ掃除シ置クヘシ其ノ他ノ原動機ニ在リテハ検査員ノ指揮ニ從フヘシ

第十一條 検査ノ際ハ使用者及取扱主任之ニ立會シ検査員ノ指揮ニ從フヘシ

第十二條 検査員ハ何時ニテモ原動機室ニ臨檢シ特ニ検査ヲ爲

スノ必要アリト認ムルトキハ原動機使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第十三條 原動機又ハ煙突ニシテ建物ノ毀損、煤煙、騒響其ノ他ノ事由ニ依リ危害ヲ生シ又ハ生スルノ虞アリト認ムルトキハ公益上必要ナル命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲スコトアルヘシ

第十四條 原動機ニ發火シ易キ物件ヲ使用シ又ハ附近ニ之ヲ貯藏スルトキハ不燃質材料ヲ以テ相當ノ防火裝置ヲ施スヘシ

第十五條 原動機取扱主任ヲ變更セムトスルトキハ豫メ其ノ履歴書ヲ添附シ軍司令官ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

官ニ於テ原動機取扱主任ヲ不適任ト認ムルトキハ何時ニテモ其ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第十六條 原動機ノ使用ヲ廢シタルトキハ検査證ヲ添附シ五日以内ニ軍司令官ニ届出ツヘシ

第十七條 原動機ニ故障ヲ生シ又ハ危險ノ虞アルトキハ其ノ使用ヲ停止シ直ニ之ヲ軍司令官ニ届出ツヘシ

第十八條 左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ五日以内ニ軍司令官ニ願出テ検査證ノ書換又ハ再交付ヲ受クヘシ但シ賣買讓與ヲ爲シタルトキハ當事者雙方ノ連署ヲ要ス

一 検査證ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキ

二 検査證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ

第十九條 本令ニ依リ軍司令官ニ提出スヘキ願届ハ總テ民政署ヲ經由スヘシ

第二十條 第二條、第五條第二項、第三項、第八條、第十條、

第十一條、第十四條乃至第十八條ノ規定ニ違反シ又ハ第十二條、第十三條ノ命令ニ違反シ若ハ第六條ノ検査ヲ拒ミタル者

ハ二月以下ノ監禁又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 原動機使用者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ使用ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルコトヲ得ス

第二十二條 使用者カ無能力者又ハ法人ナルトキハ本令ノ規定ニ依リ使用者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ管理人又ハ代表者ニ適用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際未タ官ノ検査ヲ受ケサル者ハ本令施行ノ日ヨリ二十日以内ニ本令ニ依リ願出テ検査ヲ受クヘシ

本令施行前官ノ検査ヲ受ケ検査證ヲ有スル者ハ第二條ニ依リ検査ヲ受ケタル者ト看做ス

(様式)

原 動 機 檢 査 證					
使用 者	職 業	設 置 ノ 場 所	取 扱 主 任		
汽 罐 ノ 種 類 及 箇 數	機 關 ノ 種 類 及 箇 數	使用 期 間			
原動機取締規則第五條ニ依リ此ノ検査證ヲ交付ス					
大正 年 月 日					
青島守備軍民政部					

倫敦銀塊相場 (六月中)

一日	四十八片八分七	十一日	四十八片八分七	廿一日	四十八片八分七
二日	日曜	十二日	同	廿二日	同
三日	四十八片八分七	十三日	同	廿三日	日曜
四日	同	十四日	同	廿四日	四十八片八分七
五日	同	十五日	同	廿五日	同
六日	同	十六日	日曜	廿六日	同
七日	同	十七日	四十八片八分七	廿七日	同
八日	同	十八日	同	廿八日	同
九日	日曜	十九日	同	廿九日	同
十日	四十八片八分七	二十日	同	三十日	日曜

寄贈書類 (大正七年六月)
(到著ノ分)

○週	報	自八七號至九二號	天津商業會議所
○月	報	八五號	福井商業會議所
○同	報	一〇〇號	四日市商業會議所
○商	報	自五一號至五二號	岐阜商業會議所
○商	報	一二二號	岡山商業會議所
○鐵	報	自一號至一二號	鐵工時報社
○月	報	自一九號至二〇號	平壤商業會議所
○青島	報	四月分	青島守備軍司令部
○經濟	報	自三一號至三三號	上海經濟時報社
○月	報	四〇號	安東商業會議所
○同	報	三四號	靜岡商業會議所

○山東公論	自二六號至二七號	山東公論社
○會報	六號	釧路實業協會
○所報	一四六號	函館商業會議所
○月報	六二號	門司商工會
○所報	二號	東京商業會議所
○經濟資料	六號	東京市東亞經濟調查局
○滿鮮評論	六號	滿鮮評論社
○週報	自三三三號至三二六號	上海日本人實業協會
○上海港貿易統計	大正六年十一月	同
○內外商工時報	六號	農商務省商品陳列館
○半年報	一一二號	長崎商業會議所
○月報	九八號	仁川商業會議所
○同報	三〇九號	大日本紡績聯合會
○商工時報	一四號	大阪市役所商工課
○朝鮮經濟雜誌	二九號	京城商業會議所
○遼東時報	六號	遼東時報社
○山東經濟時報	一號	山東經濟時報社
○商報	六號	青島卸商組合
○月報	五號	埠頭事務所
○滿蒙實業彙報	三六號	大連商業會議所
○貿易通報	一三二號	大阪商業會議所
○月報	一三四號	名古屋商業會議所
○同報	二五號	熊本商業會議所
○調查資料	第二二輯	南滿洲鐵道株式會社總務部

◎ 青 島 物 價 表 (六月中)
×印ハ騰貴一印ハ下落△印ハ保合

品	種	量	目	建 物 名 稱	本	月	前	月	比	較
白	米	三斗入一呔		仁川米特撰今	9,900		9,500	×		400
		"		仁川	9,900		9,500	×		400
		"		仁川一等米	9,700		9,300	×		400
		"		仁川二等米	9,500		9,100	×		400
清	酒	四斗五升入一樽		灘白鶴	40,000		40,000	△		
		四斗入一樽		灘菊正宗	39,000		39,000	△		
		"		灘真鶴	38,000		38,000	△		
		"		京都金鷄正宗	39,000		39,000	△		
醬味	油	大 一 樽		㊦ 印	21,500		21,500	△		
		十八貫入一樽		大連製	9,500		9,500	△		
砂	糖	"		青島製	8,800		8,800	△		
		一 斤		精 白	180		180	△		
大	豆	"		中 白	170		170	△		
		一 斗			3,500		3,500	△		
譽花燐落同	割花	一 升			330		330	△		
		"			320		320	△		
		大 一 箱			23,500		24,000	—		500
		百 斤			8,300		7,000	×		1,300
石	油	"			18,500		17,500	×		1,000
		一 函		寶田青全勝	4,450		4,850	—		400
		"		寶田赤全勝	4,350		4,650	—		300
		"		美孚印	5,470		5,470	△		
サイトロ	ダ	"		虎印	5,370		5,370	△		
		"		大連製ライオン印	7,300		7,300	△		
シ	ト	一		神奈川製	7,800		7,800	△		

品	種	量	目	名稱建物	本	月	前	月	比	較
茶	一	箱	青島製アサヒ	同	14,000	14,000	△			
				同	14,000	14,000	△			
				日本サクラ	13,500	13,500	△			
	一	斤	正喜撰	川	850	800	×			50
				柳	410	360	×			50
牛	肉	"	上	等	220	220	△			
				中	180	180	△			
				下	150	150	△			
豚	肉	"			250	250	△			
鷄	肉	"			500	500	△			
鷄	卵	千	箇		13,500	13,500	△			
鯉	節	百	土佐モ	上等	1,500	1,500	△			
				中	1,200	1,200	△			
				下	900	900	△			
梅	干	"	九州	モ	220	220	△			
奈樂干椎昆	頁京漬漬瓢葦布	"	"	"	350	350	△			
					150	150	△			
					380	380	△			
					2,500	2,200	×			300
					280	280	△			
片凍凍筍松	豆蒟罐	一十二大	一本筒把罐罐	南部太白	150	150	△			
					180	180	△			
					120	150	一			30
					1,350	1,350	△			
					480	480	△			
福若同	神鹽	大小五百一	一罐罐束	廣島畜産株式會社 同 上 劍 先	380	380	△			
					180	150	×			30
					350	350	△			
					150	150	△			
					10,000	9,000	×			1,000

品	種	量	目	建 物 名 稱	本	月	前	月	比	較
綿	錫	一	疋	二 番		3.800		4.500	—	700
				九 龍	銀	5.125	銀	5.050	×	75
	布	一	坪	龍	銀	5.000	銀	5.000	△	
				北海道物 四分板	銀	1.650	銀	1.650	△	
木	材	一	坪	北海道物 六分板		2.400		2.400	△	
				北海道物 八分板		2.850		2.850	△	
				角 材		085		085	△	
				製 材		120		120	△	
セ	メ	一	樽	上 等	銀兩	5.900		5.900	△	
				罐		8.000		7.300	×	700
				中 等		7.300		6.000	×	1.300
				下 等		4.800		5.500	—	700
白	ハ	一	枚	平 板 30 番		3.000		2.700	×	300
				平 板 28 番		3.400		3.000	×	400
				平 板 26 番		4.000		3.600	×	400
洋	釘	百 斤	一 樽	四 分 三 吋		27.000		27.000	△	
				一 二 吋		22.000		20.000	×	2.000
				二 三 吋		20.000		18.000	×	2.000
				三 吋		19.500		17.500	×	2.000
耐	火	千	箇	博 山 製		120.000		120.000	△	
同	赤	百	斤	博 山 製		41.000		40.000	×	1.000
				支 那 製		600		600	△	
				16 屏 面		144.500		148.250	—	3.750
				20 五 子		146.500		—	×	
綿	絲	一	俵	20 藍 魚		142.000		143.000	—	1.000
				20 福 助		151.000		153.500	—	2.500
				20 日 烏		150.000		153.000	—	3.000
				20 水 月		147.000		151.000	—	4.000
石	灰	一	俵	16 紅 月		144.500		—	×	
				16 雙 虎		—		137.000		

統 計

◎ 青 島 輸 出 入 貿 易 (五月中)

—海 關 貿 易 統 計—

輸 入 . 外 國 品

仕 出 地 別	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	計
精 製 阿 片	担	5	—	—	—	—	—	—	—	5
綿 製 品 類										
生 金 巾	疋	1,200	—	—	—	—	2,980	—	—	4,180
シムチング(米品)	"	—	—	—	—	—	160	—	—	160
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	40	—	—	40
同 (日本品)	"	10,280	—	—	—	—	1,760	—	—	12,040
晒 金 巾	"	3,060	—	—	—	—	1,225	—	—	4,285
綾 金 巾	"	—	—	—	—	—	520	—	—	520
雲 齋 布(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	1,240	—	—	1,240
同 (日本品)	"	1,000	—	—	—	—	2,120	—	—	3,120
シエーン(米 品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (和蘭品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英 品)	"	—	—	—	—	—	1,051	—	—	1,051
同 (日本品)	"	4,420	—	—	—	—	—	—	—	4,420
天竺布三十二吋	"	—	—	—	—	—	14,939	—	—	14,939
同 (日本品)	"	24,130	—	—	—	—	2,880	—	—	27,010
寒 冷 紗及綿紗	"	1,000	—	—	—	—	2,879	11	—	3,890
手織染色捺線各種	"	4,550	—	—	—	—	1,142	12	—	5,704
チンヅ及平織更紗	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フリントド フラーネチュラー	"	—	—	—	—	—	120	9	—	129
捺 線 綿 織 子	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺 線 天 竺 布	"	—	—	—	—	—	2,680	—	—	2,680
コットンイタリア ン及ラッスインケ	"	60	—	—	—	—	2,037	—	—	2,127
イーヅトブラック	"	—	—	—	—	—	1,185	—	—	1,185
同 平 織 染 色	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 綾	"	—	—	—	—	—	90	—	—	90
緋金巾及綿天竺布	疋	—	—	—	—	—	450	—	—	450
綿スパニシストラ イプ 六十四吋	担	—	—	—	—	—	24	—	—	24
綿 フ ラ ン ネ ル	"	858	—	—	—	—	120	—	—	978
同 フ ラ ン ケ ッ ト	"	4,500	—	—	—	—	—	50	—	4,550

仕出地別	單位	日本	英國	米國	香港	其ノ他	上海	大連	其ノ他	計
手巾	打	707	—	3,000	—	—	873	10	—	4,590
タオル	〃	—	—	—	—	—	3,824	—	—	3,824
同 (日本品)	〃	1,864	—	—	—	—	—	—	—	1,864
綿織絲 (印度品)	担	—	—	—	—	—	2,849	—	—	2,849
同 (日本品)	〃	10,640	—	—	—	—	1,258	—	—	11,898
綿縫絲 (絲卷)	哥	2,450	—	—	—	—	20	—	—	2,470
毛綿交織類	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ユニオン及ボンチ	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヨークロー	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
毛製品類	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅世伊多	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伯林ウール及毛絲	担	4	—	—	—	—	—	—	—	4
雜質織物類	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
絹製品交織	斤	1,680	—	—	—	—	—	—	—	1,680
金屬品	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
片線	担	1	—	—	—	—	—	—	—	1
銅板	〃	—	—	—	—	—	4	—	—	4
鐵及軟鐵 (新)	〃	24	—	—	—	—	17	—	—	41
條	担	63	—	—	—	—	305	—	—	368
屑鐵及屑鐵線	〃	—	—	—	—	—	118	—	—	118
箍	〃	—	—	—	—	—	34	—	—	34
橡	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釘用竿鐵	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ネール(ワイヤー)	〃	26	—	—	—	—	78	—	—	104
片及板	〃	29	—	—	—	—	137	117	—	283
線	〃	230	—	—	—	—	—	—	—	230
鐵及軟鐵 (古)	〃	1,271	—	—	662	—	1,682	—	—	3,615
鍍金鐵片	〃	80	—	—	—	—	—	15	—	95
鉛塊	〃	3	—	—	—	—	—	—	—	3
鋼鐵	〃	1	—	—	—	—	134	—	—	135
葉鐵	〃	4	—	—	—	—	8	—	—	12
白銅片及線	〃	2	—	—	—	—	2	—	—	4
雜貨	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麻袋	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麥酒	〃	200	—	—	—	—	—	—	—	200

仕出地別	單位	日本	英國	米國	香港	其ノ他	上海	大連	其ノ他	計
綿帶	担	5,468	—	—	—	—	70	—	—	5,538
バタ	〃	—	—	—	—	—	7	—	—	7
銅鈕釦花鈕釦	哥担	770	—	—	—	—	—	—	—	770
蠟燭	担	6	—	—	—	—	770	—	—	776
セメント	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	〃	1,200	—	—	—	—	—	123	—	1,323
磁石瓦器	海關兩	3,641	—	—	—	—	61	—	—	3,702
紙卷煙草	千本	—	—	16,003	—	—	1,036	—	—	17,039
同 (日本品)	〃	4,900	—	—	—	—	—	—	—	4,900
掛置時計	箇	941	—	—	—	—	85	—	—	1,026
石炭	噸	828	—	—	—	—	—	—	—	828
染料顏料塗料	海關兩	—	—	—	—	—	193	—	—	193
アニリン	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人造藍	担	—	—	—	—	—	10	—	—	10
天然藍液狀	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白鉛粉	〃	—	—	—	40	—	20	—	—	60
ソングラス	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
越幾斯	海關兩	2,627	—	—	—	—	2,626	144	—	5,397
電氣材料	打	1,685	—	—	—	—	—	—	—	1,685
瑤瑯洗面器	担	16	—	—	—	—	2	—	—	18
麥粉	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
窓硝子	箱	801	—	—	—	—	—	4	—	805
洋燈及洋燈器	海關兩	1,694	—	—	—	—	576	—	—	2,270
燐寸 (黃燐)	哥	384,948	—	—	—	—	—	—	—	384,948
同 (安全)	〃	217	—	—	—	—	—	—	—	217
疊及莢蘆	枚	28,612	—	—	3,100	—	84	—	—	31,796
コンデンスミルク	打	—	—	—	—	—	132	—	—	132
針	千本	13,700	—	—	—	—	400	—	—	14,100
石油 (米品箱入)	ガロン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	1,256,290	—	—	—	—	—	1,256,290
同 (露國箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スマトラ (裸)	〃	—	—	—	—	—	425,705	—	—	425,705
同 (箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙	担	523	—	—	46	—	120	8	—	697

仕出地別	單位	日本	英國	米國	香港	其ノ他	上海	大連	其ノ他	計
胡椒	担	—	—	—	22	—	9	—	—	31
米	〃	5,839	—	—	—	—	9	—	—	5,848
昆布	〃	10	—	—	32	—	—	—	—	42
日本酒	〃	373	—	—	—	—	—	11	—	384
石鹼條	〃	49	—	—	—	—	4	—	—	53
同曹醬	海軍兩	1,593	—	—	85	—	95	10	—	1,783
化粧用達油	担	21	—	—	—	—	6	—	—	27
砂糖 (赤)	〃	229	—	—	—	—	—	30	—	259
同 (白)	〃	—	—	—	15,792	—	—	—	—	15,792
同 (白)	〃	5,873	—	—	—	—	—	68	—	5,941
同精製	〃	650	—	—	2,010	—	—	—	—	2,960
同冰	〃	226	—	—	1,470	—	—	155	—	1,851
木材 (堅)	方立尺	1,743	—	—	—	—	—	245	—	1,988
同 (軟)	〃	10,573	—	—	—	—	12,575	21,911	—	45,059

◎ 輸 出 支 那 品

仕向地別	單位	日本	露國	英國	香港	其ノ他	大連	上海	其ノ他	計
生豆	頭担	—	—	—	—	—	32	—	—	32
黃牛	〃	13,532	—	—	147	—	—	—	—	13,679
獸	クオ一担	127	—	—	—	7,175	24	53	—	7,379
銅豚	担	7,234	—	—	—	—	—	—	—	7,234
東	〃	1,476	—	—	—	—	1,630	—	—	3,106
山	〃	—	—	—	—	—	—	408	—	408
棉	箇噸	162	—	—	—	—	—	10,580	—	10,692
錫	担	—	—	—	—	—	—	—	36	36
黑蛋	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蛋乾	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鵝	〃	4	—	—	—	—	—	—	—	4
鹽	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麻	箇担	426,900	—	—	—	—	—	2,500	—	429,400
魚	〃	—	—	—	—	—	—	489	180	669

仕 向 地 別			單位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	計
果 硝 落 同 頭	物 子 花	鮮	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		品	"	16	—	—	—	—	—	285	181	482
		生	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		仁	"	21,682	—	—	3,419	—	—	12,652	4,999	42,752
麥 豆 花	藁 藥 生 梨	髮	"	—	—	—	—	—	—	—	17	17
		子	箇担	—	—	—	—	—	264	—	—	264
		油	"	—	—	—	23	—	180	122	—	325
		油	"	6,912	—	—	3,211	—	5,040	—	—	5,040
鹽 杏 瓜 胡	鹽	豚	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		仁	箇担	75,298	—	—	—	—	—	—	—	75,298
		子	"	—	—	—	70	—	—	38	—	108
		麻	"	—	—	—	—	—	—	37	—	37
生 同 同 同 同	絲	白啣操	"	—	—	—	—	—	—	3	—	3
		白再操	"	—	—	—	—	—	—	2	—	2
		白機械	"	—	—	—	—	—	—	18	—	18
		黃座操	"	—	—	—	—	—	—	48	—	48
		黃再操	"	—	—	—	—	—	—	25	—	25
		黃機械	"	—	—	—	—	—	—	55	—	55
同 屑 生 山	絲 製 絹	絲	"	395	—	—	—	—	—	280	11	636
		繭	"	6	—	—	—	—	—	—	—	6
		品	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		紬	"	—	—	—	—	—	4	326	—	330
犬 生 生 麥 同	牛 羊	皮	枚担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		皮	担	3,069	—	—	—	—	120	—	183	3,372
		皮	枚担	4,050	—	—	—	—	—	3,38	—	4,418
		毛ノ	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 牛 蔬 豆 胡 羊	白色毛ノ	斑色毛ノ	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		油	"	545	—	—	—	—	—	45	—	590
		菜	"	2,791	—	—	—	—	150	372	—	3,613
		麵	"	—	—	—	—	8	6	—	—	14
		桃	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		毛	"	136	—	—	—	—	—	614	—	750

◎ 輸 入 支 那 品

仕 出 地 別	單位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	計
シーチング(上海)	疋	1.440	—	—	—	1.440
雲 齋(同)	"	60	—	—	—	60
土 布	担	33	—	—	—	33
花 色 土 布	疋	—	—	—	—	—
綿 織 絲	担	16.410	—	—	—	16.410
雜 貨						
砵 石	"	108	—	—	110	218
竹 筴	担	201.580	—	—	—	201.580
竹 篾	担	250	—	—	—	250
筒	"	27	—	—	—	27
書 籍	"	62	—	—	—	62
蠟 燭	"	49	—	—	—	49
米	"	8.112	—	—	—	8.112
磁 石	"	3	—	—	—	3
紙 卷 煙 草	"	772	1	231	1	1.005
石 炭(撫順開平)	噸	—	—	1.050	—	1.050
紙 扇	担	171.420	—	—	—	171.420
小 麥 粉 機 械 製	担	6.452	—	—	—	6.452
夏 布 粗 製	"	12	—	—	—	12
同 精 製	"	30	—	—	—	30
藥	"	65	—	6	—	71
桐 油	"	2	—	—	—	2
紙 一 等 品	"	312	—	—	103	415
同 二 等 品	"	2.173	—	—	68	2.241
同 錫 箔	"	289	—	—	20	309
同 其 ノ 他	"	12	—	—	—	12
糖 莫	"	37	58	—	—	95
三 蒸 酒	"	84	—	30	—	114
靴 綿 及 絹 製	雙 担	621	—	—	—	621
生 絲 白	担	—	—	—	—	—
同 黃	"	2	—	—	—	2
同 製 品	斤	339	—	—	—	339
石 鹼 條 形 田	担	33	—	43	—	76
麥 稈 眞 田	"	—	—	—	—	—
砂 糖 (赤)	"	—	—	—	—	—
同 (白)	"	—	—	—	—	—
茶	"	163	52	—	—	215
煙 草 刻 ミ	"	10	—	—	—	10
木 製 品	"	28	—	—	—	28

◎ 埠 頭 陸 揚 貨 物 (五月中)

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支 那	其ノ他外國	計
白 米	噸	0.2	357.8	—	473.9	0.1	832.0
豆 類	"	7.6	3.9	—	0.2	—	11.7
高粱	"	—	—	—	2,908.6	—	2,908.6
蜀 黍	"	—	—	—	108.6	—	108.6
小 麥	"	—	—	—	0.8	—	0.8
其ノ他穀類及種子	"	2.1	—	—	7.1	3.9	13.1
麥 粉	"	—	—	—	415.4	26.7	442.1
蔬 菜	"	27.9	—	—	2.2	—	30.1
果 實	"	36.3	—	—	4.0	32.8	73.1
茶	"	11.4	—	—	62.0	—	73.4
白 砂 糖	"	109.4	0.6	—	300.6	125.0	535.6
赤 砂 糖	"	—	—	—	—	957.6	957.6
冰 砂 糖	"	—	—	—	18.2	98.7	116.9
昆 布 及 海 草	"	2.3	1.8	—	7.1	6.8	18.0
鮮 魚 介	"	0.8	—	—	—	—	0.8
其ノ他海產物	"	8.5	71.6	—	25.2	1.2	106.5
日 本 酒	"	97.6	3.0	—	5.2	—	105.8
洋 酒	"	25.6	—	—	6.3	—	31.9
支 那 酒	"	—	—	—	18.8	—	18.8
麥 酒	"	53.5	—	—	22.3	—	75.8
清 涼 飲 料	"	9.0	—	—	102.7	—	111.7
味 噌	"	1.6	5.3	—	16.0	—	22.9
醬 油	"	24.6	3.5	—	9.9	—	38.0
其ノ他食料	"	108.9	0.2	—	164.5	0.9	274.5
煙 草	"	61.2	43.0	—	418.4	—	522.6
皮 革 類	"	5.5	—	—	36.3	—	41.8
石 油	"	—	—	—	0.1	4,198.6	4,198.7
桐 油	"	—	—	—	0.2	—	0.2
其ノ他油類	"	33.5	—	—	148.3	—	181.8
蠟 燭	"	1.2	—	—	30.7	—	31.9

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
石	噸	20.4	—	—	11.0	—	31.4
藥	"	136.5	0.5	—	69.0	23.0	229.0
燐	寸	1,525.5	—	—	2.3	—	1,527.8
染料及塗料	"	109.9	—	—	29.7	28.6	168.2
セメン ト	"	245.2	—	—	943.1	—	1,188.3
綿	絲	1,445.7	—	—	2,726.6	—	4,172.3
絹	絲	—	—	—	4.6	—	4.6
麻	"	2.1	—	—	82.5	—	84.6
棉	花布	6.5	—	—	142.1	—	148.6
綿	布	353.8	—	—	290.2	—	644.0
絹	布	0.1	—	—	—	—	0.1
麻	袋	1.3	—	—	13.0	—	14.3
洋物雜貨	"	310.2	0.8	—	78.2	—	389.2
日本紙	"	69.6	—	—	34.4	—	104.0
洋紙	"	87.9	—	—	—	—	87.9
支那紙	"	—	—	—	552.4	4.5	556.9
石炭	"	—	—	—	1,410.0	—	1,410.0
煉瓦及瓦	"	23.7	—	—	0.6	—	24.3
陶磁器	"	89.6	—	—	16.6	—	106.2
硝子及同製品	"	165.4	—	—	46.9	—	252.4
鐵 (故鐵ヲ含ム)	"	84.8	—	—	126.1	—	210.9
其ノ他金屬	"	10.1	—	—	1.4	0.1	11.6
金屬製品	"	181.3	—	—	86.8	—	268.6
機械品	"	30.3	—	—	253.2	6.3	289.9
電氣用品	"	45.6	40.1	—	1.3	—	46.9
車	輛	7.1	—	—	15.6	6.0	28.7
竹	材	3.0	—	—	944.4	—	947.4
木	材	2,562.2	0.5	—	801.6	2.4	3,366.2
燐寸材料	"	669.3	—	—	—	—	669.3
木炭	"	55.5	—	—	49.8	—	105.3
蔴	類	44.6	200.0	—	26.4	—	271.0
家	具	32.8	2.9	—	66.7	—	102.4
豆	粕	—	—	—	161.7	—	161.7
阿	片	—	—	0.7	—	—	0.7
貴	品	—	—	—	—	—	—
其	他	393.0	110.3	—	436.8	438.1	1,378.2
合	計	9,341.7	845.9	0.7	14,738.6	5,961.3	30,888.2

◎ 埠頭船積貨物 (五月中)

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
生牛	噸	—	—	—	9.0	—	9.0
其ノ他動物	"	—	—	—	1.0	—	1.0
落花生	"	1,286.4	1.8	—	818.8	201.7	2,308.7
豆類	"	—	—	—	1.1	10.2	11.3
其ノ他穀類及種子	"	—	—	—	16.0	4.2	20.2
麥粉	"	—	—	—	49.3	—	49.3
蔬菜	"	—	—	—	2.5	—	2.5
果實	"	45.2	5.6	—	24.2	5.4	80.4
核子	"	—	—	—	—	—	—
赤砂糖	"	—	—	—	—	—	—
白砂糖	"	—	—	—	21.6	—	21.6
冰糖	"	—	—	—	0.7	—	0.7
鮮魚介	"	5.0	—	—	32.3	—	37.3
其ノ他海產物	"	—	—	—	40.5	—	40.5
牛肉	"	58.6	—	—	5.4	363.7	427.7
鹽豚肉	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他獸肉	"	—	—	—	—	—	—
豆素麵	"	—	—	—	—	—	—
鷄卵	"	71.1	—	—	—	—	71.1
卵製品	"	0.4	—	—	22.1	—	22.5
麥酒	"	0.4	—	—	95.3	—	95.7
其ノ他酒類	"	—	—	—	—	—	—
鹽	"	2,102.0	1,510.0	—	—	—	3,612.0
其ノ他食料品	"	—	—	—	13.9	—	13.9
煙草	"	—	—	—	35.1	—	35.1
葉煙草	"	—	—	—	249.6	—	249.6
獸骨	"	112.7	—	—	—	—	112.7
骨粉	"	297.2	—	—	—	—	297.2
牛皮	"	139.9	32.3	—	16.8	—	189.0
其ノ他獸皮	"	7.8	—	—	10.2	—	18.0
羊毛	"	30.1	—	—	150.3	—	180.4
豚毛	"	—	—	—	35.1	—	35.1
落花生油	"	525.4	—	—	1,848.1	357.3	2,730.8
豆油	"	—	—	—	382.5	—	382.5
牛油	"	177.3	—	—	62.6	—	239.9

品 目	單位	日本内地	朝鮮	臺灣	支 那	其ノ他外國	計
豚 油	噸	—	—	—	—	—	—
麻 子 油	"	35.1	—	—	0.5	—	35.6
其 他 油 類	"	—	—	—	6.5	—	6.5
藥 料 及 塗 料	"	—	—	—	51.4	—	51.4
綿 絲	"	—	—	—	4.0	—	4.0
絹 絲	"	—	—	—	94.3	—	94.3
絹 絲	"	—	—	—	25.4	—	25.4
屑 絲	"	13.9	—	—	35.6	—	49.5
麻	"	—	—	—	—	—	—
棉 花	"	—	—	—	17.2	—	17.2
繭 (屑ヲ含ム)	"	130.3	—	—	—	—	130.3
綿 布	"	0.3	—	—	56.6	—	56.9
絹 布	"	—	—	—	40.8	—	40.8
麻 袋 類	"	—	—	—	7.0	—	7.0
紙	"	—	—	—	—	—	—
溜 川 炭	"	6,020.0	—	—	6,333.0	—	12,353.0
博 山 炭	"	131.8	—	—	3,917.0	—	4,048.8
撫 順 炭	"	—	—	—	—	—	—
日 本 炭	"	—	—	—	—	—	—
コ ー ク ス	"	3,291.4	—	—	2.0	—	3,293.4
陶 磁 器	"	—	—	—	2.3	—	2.3
硝 子 及 同 製 品	"	1.0	9.4	—	73.6	—	84.0
鐵 (故鐵ヲ含ム)	"	136.9	—	—	5.3	—	142.2
眞 鍮 塊	"	162.7	—	—	83.1	—	245.8
其 他 金 屬	"	0.4	—	—	3.8	—	4.2
金 屬 製 品	"	4.3	—	—	82.3	—	86.6
機 械	"	3.9	—	—	0.3	—	4.2
車 輛	"	0.2	—	—	—	—	0.2
桐 材	"	852.0	—	—	0.3	—	852.3
其 他 木 材	"	114.5	—	—	1.7	2.4	118.6
麥 稈 眞 田 具	"	162.3	—	—	11.3	—	173.6
家 具	"	8.3	—	—	6.9	—	15.2
豆 粕 寸	"	741.5	—	—	8.7	—	750.2
燐	"	—	—	—	7.8	—	7.8
紙	"	—	—	—	28.4	—	28.4
セ メ ン ト	"	—	—	—	0.5	—	0.5
重 品	"	—	—	—	10.8	—	10.8
其 他	"	865.0	2.1	—	229.5	1.2	1,097.8
合 計	"	17,535.3	1,561.2	—	15,091.9	946.1	35,134.5

青島三驛發著主要品 (五月中)

(單位噸以下一位獸類ハ頭數)

品目	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		合計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
石炭	發著	75.0	—	—	—	180.0	—	255.0
	發著	1,790.4	0.1	45.0	—	5,970.0	—	7,805.5
コークス	發著	—	—	—	—	—	—	—
	發著	54.0	—	15.0	—	7,905.0	—	7,974.0
煉瓦 (瓦ヲ含ム)	發著	16.0	2.6	9.6	—	—	—	28.2
	發著	—	—	29.8	—	15.0	—	44.8
セメント	發著	1.0	2.2	6.0	—	0.2	—	9.4
	發著	—	—	—	—	—	—	—
硝子製品	發著	4.4	1.7	—	—	—	—	6.1
	發著	16.6	1.1	—	0.1	—	—	17.8
桐	發著	—	—	—	—	—	—	—
	發著	313.0	—	529.6	—	24.1	—	866.7
木材 (板ヲ含ム)	發著	201.6	9.7	111.0	—	94.8	—	417.1
	發著	6.9	1.7	121.9	0.4	66.4	—	197.3
竹及割竹	發著	—	—	—	—	408.3	—	408.3
	發著	—	—	—	—	—	—	—
鐵板鐵製品	發著	15.6	7.5	5.0	—	254.5	0.1	282.7
	發著	6.8	3.4	—	0.2	201.9	—	212.3
古鐵	發著	33.9	—	2.0	—	—	—	35.9
	發著	0.9	3.5	—	0.7	59.5	—	64.6
大豆	發著	101.8	—	61.3	—	—	—	163.1
	發著	4.8	—	—	—	—	—	4.8
豆類 (大豆ヲ除ク)	發著	96.5	0.2	28.9	—	—	—	125.6
	發著	11.0	—	—	—	—	—	11.0
高粱	發著	611.1	—	921.2	—	2,849.6	—	4,381.9
	發著	—	—	—	—	—	—	—
小麥	發著	18.9	—	—	—	—	—	18.9
	發著	—	—	—	—	—	—	—
米	發著	46.8	20.2	40.1	—	—	—	107.1
	發著	14.5	—	1.3	—	—	—	15.8
穀類 (表中記載モノヲ除ク)	發著	71.5	0.1	96.2	—	—	—	167.8
	發著	—	0.3	44.6	—	—	—	44.9
落花生	發著	15.0	—	12.5	—	—	—	27.5
	發著	355.7	—	511.7	0.2	89.6	—	957.2

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		合 計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
麥 粉	發 著	467.0	0.4	34.4	—	44.9	—	546.7
	發 著	—	0.1	—	—	—	—	0.1
陶 磁 器 及 土 器	發 著	—	1.0	—	—	—	—	1.0
	發 著	43.9	0.1	41.3	—	14.4	—	99.7
支 那 紙	發 著	58.1	2.6	2.7	—	—	—	63.4
	發 著	0.5	5.9	2.2	—	—	—	8.6
紙 (支那紙ヲ除ク)	發 著	—	—	—	—	—	—	—
	發 著	—	—	—	—	—	—	—
麻	發 著	—	—	—	—	—	—	—
	發 著	31.5	—	—	—	—	—	31.5
綿	發 著	—	0.4	26.9	—	49.3	—	76.6
	發 著	0.7	—	6.6	—	12.4	—	19.7
綿 布	發 著	262.9	9.0	0.6	—	164.3	—	436.8
	發 著	9.9	6.2	—	—	—	—	16.1
綿 絲	發 著	1,239.8	25.0	56.7	—	—	—	1,321.5
	發 著	0.2	—	63.5	—	—	—	63.7
綿 製 品	發 著	—	3.0	—	—	—	—	3.0
	發 著	—	6.5	—	—	—	—	6.5
絹 絲 (屑ヲ含ム)	發 著	1.4	0.8	—	—	—	—	2.2
	發 著	5.0	4.8	—	—	—	—	9.8
絹 布 類	發 著	—	—	—	—	—	—	—
	發 著	11.0	15.0	—	—	—	—	26.0
繭 (屑繭ヲ含ム)	發 著	—	—	—	—	5.8	—	5.8
	發 著	10.9	—	3.7	—	9.0	—	23.6
果 實	發 著	—	—	—	—	—	—	—
	發 著	7.4	0.2	—	—	—	—	7.6
石 油	發 著	4.4	0.1	—	—	—	—	4.5
	發 著	10.5	0.2	—	—	—	—	10.7
落 花 生 油	發 著	—	0.6	409.3	—	374.3	—	784.2
	發 著	—	—	—	—	—	—	—
豆 油	發 著	—	—	—	—	—	—	—
	發 著	97.7	—	744.8	—	—	—	842.5
牛 油	發 著	—	—	—	—	—	—	—
	發 著	8.8	—	407.7	—	—	—	416.5
牛 油	發 著	—	—	—	—	—	—	—
	發 著	17.8	1.0	93.3	—	—	—	112.1

品目	發着	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		合計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
油類	表中所載ノモノヲ除クハ	5.9	1.8	—	—	6.5	—	14.2
	發着	4.6	2.3	18.0	—	—	—	24.9
麥稈	眞田	—	—	—	—	—	—	—
	發着	102.2	0.8	—	—	—	—	103.0
安	平	—	—	—	—	—	—	—
	發着	47.6	—	—	—	—	—	47.6
鹽	糖	—	—	—	—	—	—	—
	發着	—	—	—	—	—	—	—
砂	糖	572.3	1.1	6.5	—	149.9	—	729.8
	發着	—	—	—	—	—	—	—
日本酒	酒	2.0	11.8	0.8	—	—	—	14.6
	發着	—	—	—	—	—	—	—
ビール	酒	26.7	20.2	42.8	—	—	—	89.7
	發着	—	—	—	—	—	—	—
支那酒	酒	—	1.7	—	—	—	—	1.7
	發着	5.0	1.7	12.2	—	—	—	18.9
食料品	表中所載ノモノヲ除クハ	2.3	17.0	0.8	—	0.4	—	20.5
	發着	1.8	3.1	—	—	—	—	4.9
野雞	菜	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	發着	6.7	1.7	—	—	—	—	8.4
染塗料	卵	—	—	—	—	—	—	—
	發着	9.6	6.2	34.5	0.6	—	—	50.9
染塗料	料	2.6	—	—	—	—	—	2.6
	發着	73.8	1.7	—	—	—	—	75.5
藥品及藥材	材	26.1	8.1	10.9	—	5.0	—	50.1
	發着	37.2	0.3	—	—	0.3	—	37.8
曹達	達	—	—	—	—	—	—	—
	發着	—	0.5	108.6	—	3.1	—	112.2
石鹼	鹼	33.6	2.1	—	—	—	—	35.7
	發着	—	—	—	—	—	—	—
煙草	草	134.0	19.3	—	—	57.8	—	211.1
	發着	—	0.5	—	—	—	—	0.5
葉煙茶	草	—	—	—	—	—	—	—
	發着	12.8	0.5	47.7	—	—	—	61.0
茶	茶	13.8	0.4	—	—	—	—	14.2
	發着	—	0.1	—	—	—	—	0.1

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		合 計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
豚 毛	發 著	—	—	—	—	—	—	—
		46.9	0.4	—	—	—	—	47.3
羊 毛	發 著	—	—	—	—	—	—	—
		44.6	—	14.4	—	6.3	—	65.3
獸 骨	發 著	—	—	—	—	—	—	—
		160.1	—	143.2	—	8.2	—	311.5
牛 皮	發 著	—	—	—	—	—	—	—
		21.8	4.2	9.4	—	20.9	—	56.3
豚 皮	發 著	—	—	—	—	—	—	—
		26.3	0.6	—	—	—	—	26.9
魚 類	發 著	991.9	11.8	1.7	—	—	—	1,005.4
		—	0.1	—	—	—	—	0.1
昆布其ノ他海草	發 著	1.5	—	—	—	—	—	1.5
		—	—	—	—	—	—	—
蓆	發 著	—	—	81.3	—	—	—	81.3
		—	—	—	—	—	—	—
雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)	發 著	918.4	7.0	31.0	—	40.1	0.2	996.7
		79.3	0.6	—	—	—	—	79.9
燐 寸	發 著	142.0	—	46.8	—	15.0	—	203.8
		—	—	—	—	—	—	—
燐 寸 材 料	發 著	—	—	—	—	231.4	—	231.4
		—	—	—	—	—	—	—
銅 貨	發 著	—	—	44.9	—	—	—	44.9
		7.0	5.5	—	0.1	—	—	12.6
青 銅 錢	發 著	—	—	—	—	—	—	—
		—	0.3	111.6	3.0	—	—	114.9
銅	發 著	—	1.8	—	—	—	—	1.8
		—	—	85.8	—	97.6	—	183.4
家 具	發 著	—	1.2	—	—	12.4	2.8	16.4
		5.1	2.2	—	—	—	—	7.3
麻 袋 及 布 袋	發 著	1.3	7.3	2.3	—	—	—	10.9
		1.9	23.7	0.3	—	—	—	25.9
其 ノ 他	發 著	101.2	35.4	330.6	13.5	97.5	5.3	583.5
		581.2	9.4	236.9	6.1	37.7	0.2	871.5
生 牛	發 著	—	—	—	—	—	—	—
		1,974	—	—	—	—	—	1,974
合 計	發 著	6,318.3	235.2	2,424.8	13.5	5,042.0	8.4	14,042.2
		4,105.9	116.4	3,484.6	11.4	14,541.4	0.2	22,259.9

出入汽船及積卸貨物數量 (五月中)

區 別	汽 船 數				積 噸 卸 貨 物 數	一 月 以 降 累 計				積 噸 卸 貨 物 數
	隻 數			登 噸 簿 數		隻 數			登 噸 簿 數	
	載貨船	空 船	計			載貨船	空 船	計		
入 港	58	8	66	55.796	30,888.2	295	65	360	343,194.0	167,544.4
出 港	61	3	64	53.739	35,622.5	333	31	364	346,810.0	231,493.4
計	119	11	130	109.535	66,510.7	628	96	724	690,004.0	399,037.8

本表ノ船積數量ハ船用石炭 488.0 ナ含ム

出入汽船仕出仕向地別 (五月中)

入 港 之 部

仕 出 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			露 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數
日 本 內 地	16	15.350		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	15.350	
大 連	11	8.954		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	8.954	
上 海	14	11.951		—	—	—	—	—	—	1	382	—	—	—	—	15	12.333	
芝 罘	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
天 津	1	917		2	2.406	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3.323	
其ノ他支那沿岸	11	2.132		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	2.132	
臺 灣	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
釜 山	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仁 川	4	2.195		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	2.195	
香 港	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1.534	—	2	1.534	
マニラ	—	—		—	—	—	3	6.621	—	—	—	—	—	—	—	3	6.621	
浦 鹽	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
其ノ他外國	—	—		1	3.354	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3.354	
合 計	57	41.499		3	5.760	—	3	6.621	—	1	382	—	2	1.534	—	66	55.796	

出 港 之 部

仕 向 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			露 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
日 本 內 地	18	16.849	—	—	—	—	—	—	—	1	382	—	—	—	—	19	17.231	—
大 連	13	11.595	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	11.595	—
上 海	11	7.962	2	4.687	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	12.649	—
芝 罘	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
天 津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其ノ他支那沿岸	9	984	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	767	—	—	10	1.751	—
臺 灣	2	1.879	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1.879	—
釜 山	1	394	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	394	—
仁 川	2	852	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	852	—
香 港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	767	—	—	1	767	—
マニラ	—	—	—	—	—	—	3	6.621	—	—	—	—	—	—	—	3	6.621	—
浦 鹽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其ノ他外國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	56	40.515	2	4.687	3	6.621	1	382	2	1.534	64	53.739						

入 港 汽 船 揚 荷 噸 數 (五月中)

(單位噸以下一位)

汽 船 國 籍	日 本 內 地				臺 灣	朝 鮮	大 連	上 海	芝 罘	天 津	其支ノ他那	香 港	其外ノ他國	計
	大 阪	神 戶	門 司	其ノ他										
日 本	5,850.6	3,891.1	—	—	0.7	845.9	5,134.3	7,381.9	—	—	896.4	—	—	23,600.9
英 國	—	—	—	—	—	—	—	—	62.6	909.8	—	—	4,198.6	5,171.0
米 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
露 國	—	—	—	—	—	—	—	353.6	—	—	—	—	—	353.6
支 那	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,762.7	—	1,762.7
合 計	5,850.6	3,491.1	0.7	845.9	5,134.3	7,735.5	62.6	909.8	896.4	1,762.7	4,198.6	30,888.2		

出 港 汽 船 積 荷 噸 數 (五月中)

(單位噸以下一位)

汽船國籍	日本内地				臺灣	朝鮮	大連	上海	芝罘	天津	其支 ノ他那	香港	浦 鹽	マ ニ ラ	其外 ノ他國	計
	大 神	阪 門	其 ノ	司 他												
日 本	5,579.7	11,603.6	—	—	—	1,561.2	3,078.3	11,213.7	155.8	47.2	62.7	—	—	—	—	33,302.2
英 國	—	—	—	—	—	—	—	481.0	—	—	—	15.1	—	—	—	496.1
米 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	364.1	—	364.1
露 國	—	352.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	352.0
支 那	—	—	—	—	—	—	18.9	—	—	—	34.3	536.9	—	—	—	620.1
合 計	5,579.7	11,955.6	—	—	—	1,561.2	3,097.2	11,694.7	155.8	47.2	97.0	582.0	—	364.1	—	35,617.5

本表合計=ハ船用石炭488.0ヲ含ム

青 島 出 入 船 舶 旅 客 (五月中)

○印ハ帆船出入ヲ示ス

入 港 上 陸 ノ 部

國 籍	男 女	大 神	門 其 ノ	大 連	朝 鮮	上 海	芝 罘	天 津	安 東 縣	海 州	威 那	マ ニ ラ	香 港	山 東 省	江 蘇 省	福 建 省	計
		阪 門	司 他														
日 本 人	男	287	464	251	21	52	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,079
	女	146	248	61	10	15	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	481
支 那 人	男	24	24	1,944	97	229	90	91	697	101	—	—	6	624	174	16	4,031
	女	—	—	200	11	19	12	10	93	3	—	—	1	65	9	23	532
英 國 人	男	—	—	4	—	1	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—	9
	女	—	—	2	—	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
米 國 人	男	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	7
	女	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	4
露 國 人	男	—	—	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	女	—	—	15	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22
白耳義人	男	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
葡萄牙人	男	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ルーマニア人	男	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	男	314	490	2,203	118	284	96	91	697	102	2	3	6	624	174	16	5,134
	女	149	248	278	21	44	14	10	93	3	—	1	1	65	9	23	1,045
計		463	738	2,481	139	328	110	101	790	105	2	4	7	689	183	39	6,179

出 港 乘 船 ノ 部

○印ハ帆船出入ヲ示ス

國 籍	男 女	大 神 戶	門 司 他	大 連	朝 鮮	上 海	芝 罘	香 港	臺 灣	天 津	マ ニ ラ	安 東 縣	海 州	山 東 省	江 蘇 省	福 建 省	關 東 州	計
日 本 人	男	139	374	235	9	22	3	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	784
	女	95	211	104	6	8	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	427
支 那 人	男	6	5	3,410	108	149	426	90	—	—	—	672	77	310	61	7	4	5,325
	女	—	—	833	—	14	131	30	—	—	—	130	2	57	1	19	2	1,219
英 國 人	男	1	—	1	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	女	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
米 國 人	男	—	1	—	—	1	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	6
	女	—	—	—	—	1	—	—	—	—	7	—	—	—	—	—	—	8
露 國 人	男	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白 耳 義 人	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
和 蘭 人	男	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
瑞 西 人	男	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
獨 逸 人	男	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	男	147	380	3,650	117	175	429	90	1	1	4	672	78	310	61	7	4	6,126
	女	95	211	937	6	26	133	30	—	1	7	130	3	57	1	19	2	1,658
	計	242	591	4,587	123	201	562	120	1	2	11	802	81	62	26	26	6	7,784

青 島 大 港 兩 驛 乘 降 客 (五月中)

驛 別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降	乘	降
青 島 驛	152	148	506	673	14,860	23,390	15,518	24,211
大 港 驛	31	18	222	36	6,361	173	6,614	227
合 計	183	166	728	709	21,221	23,563	22,132	24,438
一 月 以 降 累 計	786	825	3,821	4,110	124,226	144,030	128,833	148,965

青島屠獸場屠殺數 (六月中)

日	次	牛	犢	豚	羊	山羊	計
一	日	13	—	38	3	—	54
三	日	13	—	19	3	—	35
四	日	197	—	20	1	—	218
五	日	197	—	18	1	—	216
六	日	5	—	19	1	—	25
七	日	11	—	17	1	—	29
八	日	22	—	38	3	—	63
十	日	20	—	70	2	—	92
十一	一 日	178	—	66	3	—	247
十二	二 日	18	—	101	3	—	122
十三	三 日	5	—	20	1	—	26
十四	四 日	7	—	4	1	—	12
十五	五 日	13	—	28	2	—	43
十六	六 日	12	—	21	1	—	34
十七	七 日	12	—	20	2	—	34
十八	八 日	12	—	20	2	—	34
十九	九 日	181	—	19	2	—	202
二十	十 日	7	—	17	3	—	27
二十一	十一 日	10	—	19	3	—	32
二十二	十二 日	165	—	34	4	—	203
二十三	十三 日	152	—	20	3	—	175
二十四	十四 日	152	—	20	3	—	175
二十五	十五 日	6	—	26	2	—	34
二十六	十六 日	14	—	22	2	—	38
二十七	十七 日	10	—	18	1	—	29
二十八	十八 日	9	—	17	1	—	27
二十九	十九 日	13	—	37	4	—	54
合	計	1,290	—	728	53	—	2,071
一月以降	累計	17,177	18	4,457	313	2	21,967